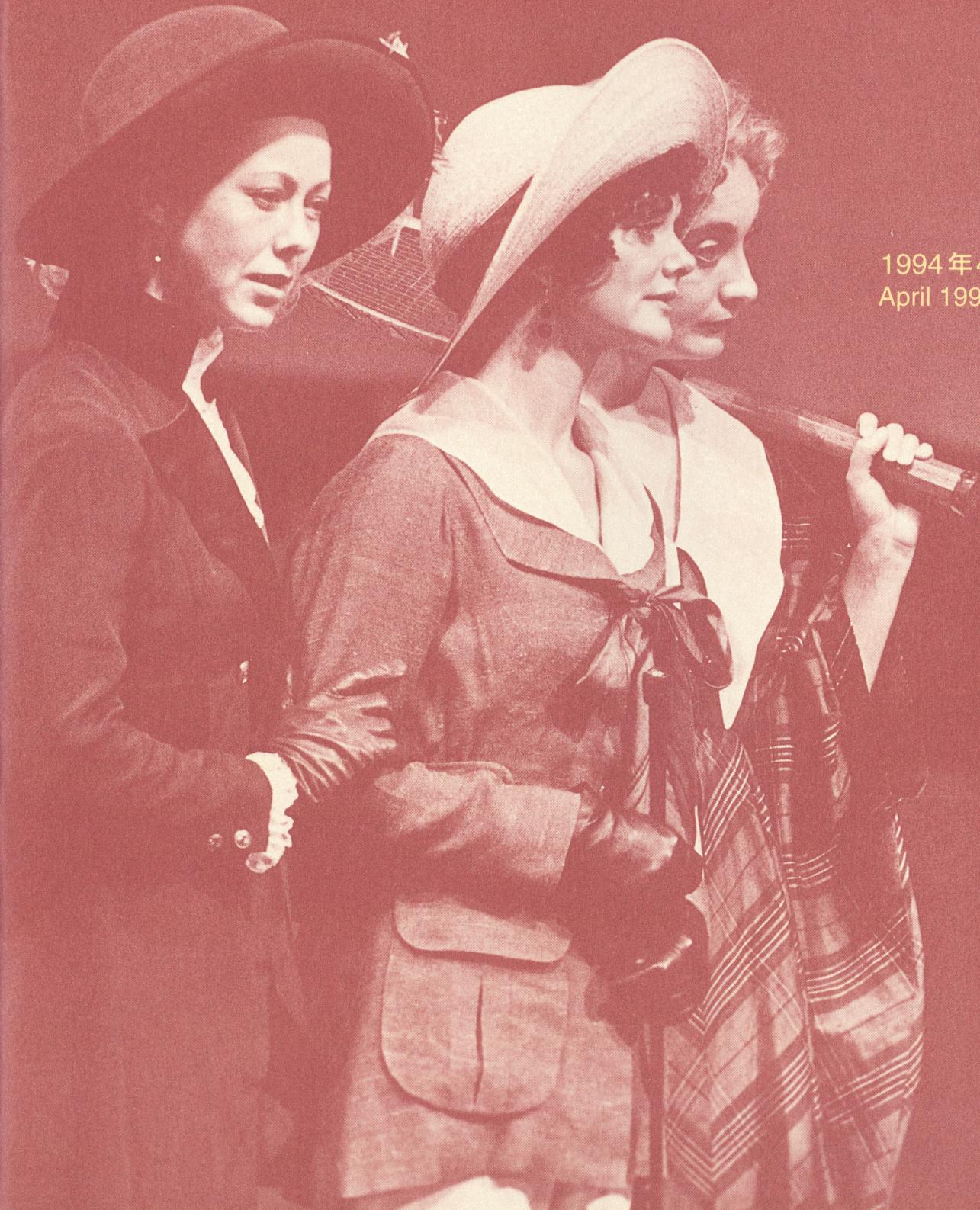


THE SAISON FOUNDATION

財団法人セゾン文化財団 1994年度 事業報告書 ANNUAL REPORT 1994



1994年4月—1995年3月
April 1994 to March 1995

財団法人セゾン文化財団

1994年度 事業報告

1994年4月—1995年3月

THE SAISON FOUNDATION

ANNUAL REPORT 1994

April 1994 to March 1995

目次

ごあいさつ	3
1994年度の事業について	5
助成事業	15
現代演劇・舞踊助成	
特別助成	
自主制作事業	29
会計報告	33
事業日誌	35
申請の手引	36
役員・評議員	38

Table of Contents

Preface	4
Activities in 1994	5
Grant Programs	15
Contemporary Theatre and Dance Grants	
Special Project Support Grants	
Sponsorship Programs	29
Financial Report	33
Review of Activities	35
Application Information	37
Board of Directors and Board of Trustees	39

ごあいさつ

戦後50年を迎えた今年、わが国は年初から阪神大震災という未曾有の惨禍に見舞われることとなりました。多くの貴い人命が失われ、安全であったはずの建造物さえも無残に崩落した現実を前に、私たちはしばし自失するばかりでした。

しかし、その一方でただちに始まった復興再生への力強い幾多の動きは、私たちに次代への予感と期待を抱かせるものでした。とりわけ印象深く感じられたのは、復興に参加した数多くの非営利団体やボランティアの活躍であります。これらの行動は、民主主義の新たな方向を示すことになるに違いありません。

セゾン文化財団は同じ民間非営利セクターの一員として、この時代の変化をしっかり読み取りつつ、今後もわが国の芸術文化の発展に、ささやかながら寄与して参りたいと存じます。

お蔭様で「森下スタジオ」も多くの方々にご使用いただいて満1年を迎えました。これを機に、私どもは、さらに幅広い助成活動を展開して参ります。何卒、皆様の一層のご理解とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

1995年10月

理事長 堤 清二



Preface

The year of the 50th anniversary of the end of World War II began with the devastating news of the Great Hanshin Earthquake in Japan. Lost lives and destroyed buildings once thought of as quake-proof left us all with a sense of helplessness.

However, restoration measures taken immediately after the quake encouraged us once again to hope for the future led by the younger generation. Most impressive was the endeavor made by non-profit organizations and volunteer groups. These movements have indicated a development of a new type of democracy in our country.

The Saison Foundation hopes to contribute to this new direction as one non-profit sector member in the field of arts and culture.

With the celebration of the first anniversary of Morishita Studio, we wish to dedicate ourselves to more far-reaching grant activities. Your understanding and advice are deeply appreciated.

October 1995

Seiji Tsutsumi
Chairman

1994年度の事業について

ACTIVITIES IN 1994

事業概要

助成事業

現代演劇・舞踊助成

現代演劇、現代舞踊の領域における活動を対象に公募し、資金助成(助成金交付)およびスタジオ助成(森下スタジオ貸与)を行う。

A.創造環境整備

A-1.創造環境整備活動

芸術活動に関わる構造的問題の改善、知的交流、人材育成をはじめ、広く「創造環境」の整備に貢献する目的で行われる調査研究、ワークショップ、研修、留学、会議、シンポジウム、出版などの活動に対して助成する。

A-2.コロンビア大学アーツマネジメント留学

アーツマネジャーの養成、アーツマネジメントの普及を目的に、米国コロンビア大学ティーチャーズカレッジ(大学院)へ1年間奨学生を派遣する。

B.創造過程・運営

B-1.国内劇団の年間活動

長期的な創作活動を指向する若手の芸術団体に対し、年間の経常費を含めた活動費を原則として3年間にわたり助成する。申請団体は過去3年以上の活動歴を有し、専任の制作担当者をおくことが条件となる。

B-2.共同創造活動

日本の芸術家/団体による国際的あるいは異分野間の共同作業、創造活動に対して助成を行う。

C.公演

C-1.国内劇団の国内公演

長期的な展望を持ち国内で創作活動を続ける若手の芸術家/団体の公演に対して助成を行う。

C-2.国内劇団の海外公演

海外の国際的な芸術フェスティバル等より正式な招待を受けた作品の上演、国際的な芸術活動を指向して海外へ赴く日本の芸術家/団体による海外公演に対して助成を行う。

C-3.海外劇団の招聘公演

原則として、日本での公演経験のない海外の芸術家/団体の招聘企画で、日本での受け入れ先が決定している公演に対して助成を行う。

特別助成

現代演劇、現代舞踊以外の分野で、理事および評議員から提出された案件の中から採択されたものに対して、資金援助や協力を行う。既存の芸術、文化、学術領域や国家の枠を超えた創造活動、学術交流などが支援の対象となる。

自主製作事業

自主製作事業として、演劇の招聘公演やシンポジウム、ワークショップ、セミナーなどを主催する。

活動報告

セゾン文化財団では、1994年度も「助成事業」「自主製作事業」の2本の柱にしたがって、下記のとおり活動を行った。

助成事業

現代演劇・舞踊助成

基本的な考え方

本年度より、「創造環境整備」「創造過程・運営」「公演」の3つの大きなカテゴリーにしたがってプログラムを再配置し、同時に、助成金の配分を前2カテゴリーに一層傾斜させることとした。この結果、かつて大半を占めていた「公演活動」への助成金配分比率は、本年度初めて30%を下回ることになった。

これは第一に、わが国の舞台芸術作品の長期的なレベルアップを図るために、単発の公演に対して助成するといったいわば対症療法的な対応だけでは不十分であるという認識に基づくものである。現在の舞台芸術界には、教育の機会、情報の交流、批評の場、マネジメントのノウハウ、構造的諸問題に関する調査や研究など、質の高い作品を生み出していく土壤となるべきさまざまな要因が著しく不足している。また同時に、個々の芸術団体レベルでみると、運営基盤の脆弱さ、稽古場や稽古時間の不足といった問題が、優れた作品づくりの障害要因となっていることは明らかである。これらの問題解決に向けたシードマネーを提供することは、回り道のようであっても、当財団の目的に照らし最も有効な選択であると思われる。

第二に、これは芸術支援をめぐる環境の変化による。当財団が活動を開始した87年当時に比べると、舞台芸術団体の側から見た資金ソースは飛躍的に増加している。なかでも芸術文化振興基金の創設と、企業メセナ協議会の発足に象徴される企業による文化支援活動の拡大は、きわめて重要な変化であった。しかしながら、支援方法そのものは支援主体の増加ほどには多様化せず、公演活動への単発助成がいまだに大半である。このようななかで民間財団の果たすべき役割は、支援方法における新たな選択肢を世に問うていくことだといえる。

森下スタジオ

当財団では1994年4月、東京・江東区に演劇・舞踊のための稽古場[森下スタジオ]を開館した。これは以上のストラテジーを補強するものとして位置づけられる。これにより、当財団の助成は、金銭的支援としての「資金助成」と、稽古やワークショップ、セミナーのためのスペースを提供する「スタジオ助成」の二つのやり方で行われることとなった。初年度(変則16ヵ月)は、二つのスタジオが延べ925日稼働したが、うち618日は「スタジオ助成」として30の団体/個人に貸与され、残りは自主製作事業および臨時の案件に使用された。当財団では[森下スタジオ]を、単に稽古場不足を補うためのスペースとしてだけでなく、今後新たなプログラムやアイディアを実験していく場として活かしたいと考えている。初年度の成果を検討したうえで、効果的な活用方法をさらに模索していくことにしたい。

本年度の申請・採択状況

本年度の「資金助成」に対する申請件数は全体で351件(前年比171%)と大幅に増加した。昨年度の申請件数も前年比55%増であったことを考えると、極めて急ピッチな増加トレンドである。これは、ひとつには「助成金を申請する」ということが、わが国の舞台芸術界においても徐々に日常化しつつあることを示していると考えられる。申請総数のうち、当財団に初めて申請する団体/個人からの申請が200件あったことや、関西地区からの申請46件をはじめ、首都圏以外の地域や海外からの申請が増加したことが、申請者の幅の広がりを感じさせた。

申請の内訳を見ると、「創造過程・運営」カテゴリーの2プログラム（「国内劇団の年間助成」「共同創造活動」）に対する申請が、いずれも前年比2倍以上の伸びを示しており、作品の発表以前の段階における支援ニーズが高いことが改めて裏付けられた。

またジャンル別には、舞踊関係が116件と、昨年に引き続き大きなウェイトを占めた。昨今の現代舞踊の隆盛という状況の反映であると思われる。

本年度から開始された「スタジオ助成」に対する申請募集は二次にわたって行われ、総計87件の申請を受け付けた。申請内容の多くは、劇団が公演の稽古場としての使用を求めるものであった。

審査委員会においては、冒頭に述べた考え方を踏まえ、作品の創造・発表にかかる基盤の整備、若い才能に対する支援、および国際間の相互理解の促進に、さらに焦点を合わせていくことが確認された。審査は例年どおり、プログラム別に、独創性、適時性、影響力、実現性、将来性の5つの基準に基づいて行われた。プログラムおよび審査基準は、基本的に「資金助成」「スタジオ助成」を通じ共通であるが、「スタジオ助成」においては、[森下スタジオ]自体の活用コンセプトも視野に収めた選考がなされた。

この結果、「資金助成」46件、「スタジオ助成」30件が採択され、理事会および評議員会において異議なく承認された。

プログラムの実施状況

本年度のプログラムおよび助成対象事業の概要は以下のとおりであった。

「創造環境整備活動」

このカテゴリーの助成対象となる事業には、調査、研究、翻訳、出版、ワークショップ、会議・シンポジウム、海外留学などさまざまな形態が含まれる。

このうちアーツマネジメント（あるいはアーツアドミニストレーション）の調査、研究、留学等は、当財団が重点的に支援対象としてきたテーマであり、本年度も3人目のコロンビア大学留学生として派遣されることになった玉虫美香子氏を含む6氏に対し助成を行った。この分野は、欧米の概念を輸入する段階を過ぎ、日本型の教育プログラムの確立や、職掌としての社会的な認知に向けた活動が必要な時期にさしかかっている。そうしたなかで、佐藤氏、米屋氏、中山氏らによる今回の研究成果はそれぞれ有効な指針となるであろう。

また、同じく重点的な支援対象であるワークショップに関しては、[森下スタジオ]の貸与による支援を中心とした。同スタジオでの開催によって、ワークショップがより開かれた性格のものとなり、将来的にはワークショップ相互の交流に発展することも期待される。

「創造過程・運営」

「国内劇団の年間活動」に対する助成では、最終年度（3年目）を迎えた[新宿梁山泊][パパ・タラスマラ]、2年度目の[ダムタイプ]について、本年度から新たに[MODE][燐光群]の2団体が加わった。

このプログラムの趣旨は、個々の団体が助成金をもとに、将来の作品制作や公演活動に向けた「投資」を集中的に行っていくことで、それぞれが描く中長期ビジョンを実現可能なものにしていく点にある。今回新たに加わった2団体は、すでに作品面では高い評価を受けているが、今後さらに地方とのネットワークを強化していくこうとする点で政策的な共通点をもっている。両団体とも1年度目の「投資」は、主にそれぞれの創造拠点や制作機能の充実に対して行われた。

一方「共同創造活動」への助成は、国際的な、あるいはジャンルを超えた共同プロジェクトを支援するプログラムであり、演劇・舞踊界に強いインパクトを与えるダイナミズムを備えたものを優先している。本年度は3つのプロジェクトが採択されたが、いずれも長期レンジでの取り組みであり、今後の国際文化交流のあるべき姿を示唆するものと考えられる。

「公演」

「国内劇団の国内公演」に対しては、資金助成15件に加え、スタジオ助成19件が行われた。このプログラムでは、将来「年間活動」助成の対象候補となるべき若手世代を支援の中心においているが、傾向としては今年もまたダンス系統の公演が目立つ結果となった。演劇では著しい若手の台頭が見られず、今回初めて対象となった劇団も[NOISE][THE ガジラ][山の手事情社][ZAZOUS THEATER][東京ギンガ堂]など、すでに一定のキャリアと知名度を持ったところが多かった。

「国内劇団の海外公演」においては、わが国の舞台芸術の成果を世界に紹介することを目的としており、本年は6件について助成を行った。なかでも、89年度から通算5度目の助成となる[勅使川原三郎+KARAS]は、この間世界の多くの都市で公演を行い、わが国の現代芸術の評価の向上に大きな役割を果たしてきたといえる。また「海外劇団の国内公演」に対する助成では、海外の優れた舞台芸術の招聘公演を支援対象としている。本年は韓国の[劇団ティオペペ]の初来日公演ほか2件に対して助成を行った。

特別助成

現代演劇・舞踊以外の領域で、公募によらず、理事、評議員によって提出された案件の中から採択されたものに対して助成を行うものである。この助成事業の目的は、国家やジャンルなど既存の枠組みを超えて行われる創造、研究などの先進的活動を奨励することにある。

本年度は、海外との相互交流事業を中心に援助が行われた。詩人や作家の人物交流、女性映画人を招いての意見交換、日本語文献の翻訳事業、文化政策シンポジウムなど、紹介される機会の少ない分野で、小規模ではあるが密度の濃い有意義な活動が行われた。また、継続的に支援しているアジアン・カルチュラル・カウンシル(ACC)の人物交流プログラムでは、本年度、日本から8名、米国から7名が選抜された。

自主製作事業

当財団ではこれまで自主製作事業として、演劇の招聘公演などを不定期に主催してきたが、本年度からはさらに加え、森下スタジオを活用したセミナー、ワークショップなど、さらに幅広い活動を開始した。

森下スタジオは、創造・交流のための開かれた場であると同時に、自主製作事業を通して当財団における活動の方向性を示す場でもある。開館初年度の本年は、そのような考え方を現代演劇・舞踊にかかわる方々に広く周知することにも意図を置いてプログラミングを行った。

まずオープニングを記念して、特色ある劇団運営を行っている制作자를パネリストに迎えたマネジメントセミナー「日本型アートマネジメントの展望と21世紀の劇団経営」、演出家・松本修氏による「演劇体験ワークショップ」(共催/企業メセナ協議会)を開催した。いずれも好評であったが、とくに劇団のマネジメントの問題については関心が高く、さらに掘り下げる議論を望む声が多かったため、引き続き少數の演劇制作者を対象にした研修セミナーのシリーズを、慶應義塾大学アートセンターと共催した。

ついで、舞踊家・勅使川原三郎氏をディレクターに迎えた「セゾン文化財団ワークショップ」を3期に分けて1年間開催した。本ワークショップは「テクニックを習得するためのものではなく、ダンスを思考すること」を目的とし、ダンスの経験がない人に対してもあまねく開かれた講座となった。参加、継続希望者が多数のため選考を行ったうえクラスを増設、また第2期からはバレエクラスも新設され、3期間で延べ515人の受講者を得た。成果を見るため、本ワークショップは95年度に引継がれる。

さらに本年度は、米国の財団であるアジアン・カルチュラル・カウンシルとの共催で「トライアングル・アーツ・プログラム・イン・ダンス」を実施した。これは、アメリカ、インドネシア、日本のダンスの分野から選ばれたダンサー、アーツマネジャーの2人、計6人がそれぞれの国の芸術拠点(ジェイコブス・ピロー・ダンスフェスティバル、ジャカルタ・アーツセンター、森下スタジオ)を巡回する新しいスタイルの人物交流プログラムである。本年度は将来の本格稼働に向けたパイロットプログラムとして開催された。本プロジェクトは当財団にとっても初めての海外のアーツ・オーガニゼーションとの共同作業であり、慎重な協議を重ね、国際共同創造活動の新たなあり方を探るものとして今後に繋げて行きたい。

このほか、銀座セゾン劇場における海外招聘公演としては、昨年度に引き続き、本年度(*)もロイヤル・シェイクスピア・カンパニー(ロンドン)を招き、「恋の骨折り損」を主催公演した。ストレートプレイのみならずオペラ、ミュージカルにその才能を發揮する鬼才イアン・ジャッジによる演出は、スピード感溢れる展開で、美しい舞台美術や音楽と相俟って好評を博した。

また共催事業として、昨年度と同様「八ヶ岳高原音楽祭'94」「さっぽろ映像セミナー」を開催した。

*当財団の年度区分においては、94年度から2年度にわたる事業となる。

Program Outline

GRANT PROGRAMS

Contemporary Theatre and Dance Grants

The Saison Foundation awards grants and/or provides rehearsal studio space at MORISHITA STUDIO for the following activities in the field of contemporary theatre and dance.

A. CREATIVE ENVIRONMENT IMPROVEMENT

A-1. Creative Environment Improvement

Grants are made to various activities concerning contemporary Japanese theatre and dance such as research, study, publication, human resource development, conferences, symposia, etc.

A-2. Study Program in Arts Administration at Teachers College, Columbia University

B. CREATIVE PROCESS IMPROVEMENT

B-1. Administrative Support to Japanese Theatre and Dance Companies

Grants are made to Japanese theatre and dance companies with a house producer and more than three years' experience in theatre performances. Grants are awarded for three consecutive years to cover administrative expenses. This category allows theatre companies to strengthen their administrative infrastructures.

B-2. Collaborations with Japanese Artists

Grants are made to collaborations by artists from Japan and from other countries regardless of their major field. Grants are made to various types of collaborations which involve Japanese artists, such as cooperative works with foreign artists, and also with artists from other fields.

C. PERFORMANCES

C-1. Performances in Japan by Japanese Artists

Grants are made to single performances by young artists and theatre and dance companies in Japan wishing to continue activities with a long-term prospect.

C-2. Performances Abroad by Japanese Artists

Grants are made to performances held outside Japan by Japanese artists. Performing artists, theatre and dance companies, producing organizations and/or individuals officially invited to international arts festivals or interested in performing abroad, and the host organizations and/or individuals are eligible to apply.

C-3. Performances in Japan by Foreign Artists

Grants are made to artists and theatre and dance companies from abroad appearing in Japan for the first time. Performing artists and/or organizations, producing organizations and/or individuals and the host organizations and/or individuals in Japan are eligible to apply.

Special Project Support Grants

The Saison Foundation provides cooperative and financial support to cultural activities outside the field of contemporary theatre and dance. Grants are awarded to selected organizations and/or individuals recommended by the Board of Directors and the Board of Trustees. The objective of the grants is to support various activities including creative works and academic exchanges which transcend the conventional frameworks of arts, culture, academic discipline and nationality.

SPONSORSHIP PROGRAMS

The Saison Foundation sponsors various international performances, symposia and workshops.

Details on the Grant Programs and Sponsorship Programs for 1994 are as follows:

Grant Programs

Contemporary Theatre and Dance Grants

Principle

Grants were provided under three new categories this year: "Creative Environment Improvement," "Creative Process Improvement," and "Performances." This year, more grants were allocated to the first two categories. As a result, grants for "Performances" fell below 30% of the total grants made for the first time in our Foundation's history.

Our acknowledgement of the need for a long-term plan for improving stage works in Japan attributed to this change. Supporting particular performances alone would be insufficient to bring about substantial improvement in the area. In addition, factors like educational opportunity, information exchange, critic forums, management know-how, studies and research on structural problems - all which are vital in building a firm ground for high level artistic activities are lacking in the theatrical community. Moreover, it is clear that the problems which theatre and dance companies face such as vulnerability in administration and scarcity of rehearsal space and time prevent the creation of outstanding pieces of work. We believe that providing support aimed to solve these problems would be most effective in the long run and most appropriate in connection with our Foundation's policy.

Another reason for the decrease in the performance budget was the change in the environment surrounding artistic support. Compared to the situation when the Foundation first started its activities in 1987, the amount of financial support from various organizations grew remarkably. The establishment of the Japan Arts Fund and Association for Corporate Support of the Arts symbolizes the expansion of cultural support activities. This indeed was a significant change. However, supporting methods remained quite the same as most were provided to performances. Taking this into consideration, the Saison Foundation believes that it is most important for a private foundation to offer more alternatives in support measures.

Morishita Studio

The Saison Foundation opened its Morishita Studio, a rehearsal studio for theatrical and dance performances, in Tokyo in April 1994. The Studio was founded to improve the situation of rehearsal space in Tokyo, as mentioned above. This has enabled the Saison Foundation to provide dual support to theatrical and dance companies in the forms of grants and space for rehearsals, workshops and seminars. In the first 16 months of operation, the studio was in use for 925 days. Of the 925 days, the studio was rented for 618 days to 30 individuals/organizations under the category of Studio Rental Program and what remained was used for Foundation's Sponsorship Programs and other special or temporary projects. The Saison Foundation hopes that Morishita Studio will not only contribute to solving the problem of rehearsal space shortage but also be used for experimentation of new programs and ideas. Potentialities of the studio will be studied after operation of the first year is carefully reviewed.

Applications and Grants

A total of 351 applications (a 71% increase compared to 1993) were received this year for the Grant Programs. Applications increased by 55% in the fiscal 1993, and this fast-growing tendency seems to continue. The increase may be due to the fact that applying for a grant has become more common in Japan. Of all the applications made, 200 artists/organizations applied for the first time, and applications from the Kansai area counted 46. The increasing number of applications from areas outside Metropolitan Tokyo and from abroad indicated that the group of applicants has expanded vastly over the past several years.

More than twice as much applications compared to last year were made for Administrative Support to Japanese

Theatre and Dance Companies and Collaborations with Japanese Artists in our Grant Programs. This indicates that there is a demand for support to preparative activities in prior to actual performances.

Looking into the genre of applications made, 116 were in the field of dance which is a figure that reflects the progress and popularity of contemporary dance.

Applications for the Studio Rental Program totaled 87 during two different application periods. Many of the applications were made in search of rehearsal space for company performances.

Our reviewing committee confirmed its policy to support both activities which may improve the creative environment, and young and promising artists, while promoting international exchanges in accordance to the policy stated earlier. Review process were as usual for all programs and selections were based on five criteria: originality, timeliness, effectiveness, feasibility and potentiality. The same criteria was applied for both the Grant Programs and Studio Rental Program, although the unique conceptual policy of the Morishita Studio was taken into consideration for the latter.

Forty-six individuals/organizations were selected for the Grant Program and 30 for the Studio Rental Program. All were approved and finalized at the meeting of Board of Directors and Board of Trustees.

Pursuit of Grant Programs

Grant Programs for fiscal 1994 were as follows.

Creative Environment Improvement

Grants are awarded to research, study, translation, publications, workshops, conferences, symposia. Additionally, there is the overseas scholarship program which provides financial support to Japanese art managers who wish to study abroad under this category.

Research and study abroad in the field of arts management (or arts administration) are most emphasized under the Foundation policy. Six grantees were chosen including Ms. Mikako Tamamushi, who was selected to attend Columbia University as the third grantee of our overseas scholarship program. As the phase of introducing Western concepts of arts management is now shifting to the next phase (i.e., establishing a Japanese version of educational programs and enhancing the recognition of arts management as an occupation), research work by Mr. Ikuya Sato, Ms. Naoko Yoneya, and Ms. Kaori Nakayama will be cornerstones of this new development.

The Foundation also focused on support for workshops by opening the Morishita Studio. The Morishita Studio enabled workshops to be more open to a larger group of people and we hope to facilitate exchanges among workshops held in the future.

Creative Process Improvement

For Administrative Support to Japanese Theatrical and Dance Companies category, continuous support was provided to SHINJUKU RYOZANPAKU (for the third year), PAPPA TARAHUMARA (for the third year), and DUMB TYPE (for the second year). Companies which received support for the first time this year were MODE and RIN-KO-GUN.

Each grantee is expected to use the grant as a medium- and long-term investment for future production and performances. The two new grantees in this category have already gained high reputation in stage performances but needed to strengthen their network in areas outside of Tokyo. Grants were used this year to improve their creative base and productive functions.

Meanwhile, grants were made to international or interdisciplinary collaborative projects under the Collaboration with Japanese Artists category in which projects of theatrical and dance communities are given the highest priority. Three projects selected this year all have long-term goals and are recognized as ideal examples of international exchange activities.

Performances

Fifteen applicants were awarded grants and 19 were provided studio support under the Performances in Japan by Japanese Artists category. This program intends to support young artists who have the capabilities of becoming future candidates of the Administrative Support program. This year, support centered around dance performances, and a few new promising young theatrical artists appeared this year. NOISE, GAZIRA, YAMANOTE JIJOSHA COMPANY, and ZAZOUS THEATER, all for which were awarded grants or studio support for the first time this year, were companies with a relatively long career and good reputation.

Special Project Support Grants

The Saison Foundation provides financial support for activities outside the field of contemporary theatre and dance. Grants are awarded to selected organizations and/or individuals recommended by the Board of Directors and Board of Trustees. The objective of the grants is to support future-oriented creative and research activities that transcend the framework of nationality or genre.

Support centered around activities of international exchanges this year. Invitation of poets, writers, female film artists, translation of Japanese publications, a symposium on cultural policy were supported to promote further exchanges of opinion and ideas. Such projects were all small in size but were highly meaningful. Continuous support was given to the Asian Cultural Council's Japan-United States Arts Program. Eight artists were selected from Japan and seven from the United States this year.

Sponsorship Programs

The Saison Foundation has sponsored several occasional invitational performances over the past few years. However, with the completion of Morishita Studio, we have started to support more wide-range activities such as seminars and workshops.

The Morishita Studio is a space for creation and interchange as well as a facility that enables the Saison Foundation to engage in various self-sponsored projects. In the opening year, programs were planned to make the Studio known to the contemporary theatrical and dance communities.

To celebrate the opening of the Studio, the Foundation sponsored a seminar "Arts Management - In Search of its Japanese Style -" with producers of unique theatrical companies as panelists, and also co-sponsored a workshop called "Theatrical Experiences" by director Mr. Osamu Matsumoto. Both were much appreciated, yet there were requests for more discussions in the field of arts management. In response to such requests, the Foundation co-sponsored a series of seminars for theatrical managers on this issue with the Research Center for Arts Administration at Keio University.

In addition, a project called "Karas Workshop" with director Saburo Teshigawara was dividedly held in three terms throughout the year. The aim of the workshop was not to give an opportunity to acquire dance techniques but to cogitate on dancing. Therefore, this workshop welcomed those who did not have any experience in dancing. Applications to attend the workshop exceeded the capacity and thus more classes than the original plan were added but only those who passed the selection process were able to participate. Ballet classes were added from the second term, and a total of 515 people participated in the workshops in three different terms. This workshop will be continued in fiscal 1995 for follow-up research.

A new project called "Triangle Arts Program" was co-sponsored with the Asian Cultural Council this year. Dancers and arts managers were selected from three countries (US, Indonesia and Japan) and six members toured the base cities (Jacob's Pillow Dance Festival, Jakarta Arts Centre, and Morishita Studio) to exchange opinions and ideas in their professional fields. This year's program was executed as a pilot version of a collaborative project with arts organization abroad. The new project will be the first of its kind for the Saison Foundation and careful planning will be pursued in search of an improved style in international collaborative creative activities.

The invitational performance at the Ginza Saison Theatre this year was "Love's Labour's Lost" by the Royal Shakespeare Company. The production, which was by Ian Judge, a genius for opera and musicals as well as for straight plays, displayed an example of excellent direction which created an exciting story enhanced by superb stage art and music.

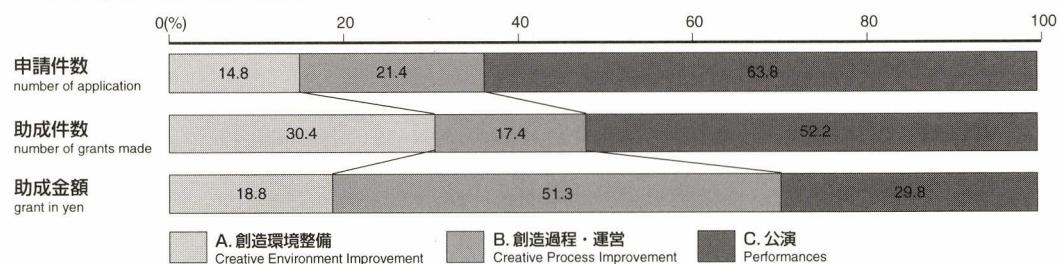
The Saison Foundation also co-sponsored the Yatsugatake Music Festival and the Sapporo Eizo (visual arts) Seminar two years in a row.

* This was a two-year sponsorship program (1994-1995).

1994年度現代演劇・舞踊助成の概況
Contemporary Theatre and Dance Grants, 1994

分野 category		資金助成 grants			スタジオ助成 studio rental	
		申請件数 number of applications	助成件数 number of grants made	助成金額(¥) grant in yen	申請件数 number of applications	助成件数 number of recipients
A 創造環境整備 CREATIVE ENVIRONMENT IMPROVEMENT	A-1 創造環境整備活動 Creative Environment Improvement	49	13	18,600,000	12	11
	A-2 コロンビア大学アーマネジメント留学 Study Program in Arts Administration at Teachers College, Columbia University	3	1	5,644,000	—	—
B 創造過程・運営 CREATIVE PROCESS IMPROVEMENT	B-1 国内劇団の年間活動 Administrative Support to Japanese Theatre and Dance Companies	42	5	60,000,000	3	0
	B-2 共同創造活動 Collaborations with Japanese Artists	33	3	6,000,000	1	0
C 公演 PERFORMANCES	C-1 国内劇団の国内公演 Performances in Japan by Japanese Artists	167	15	21,400,000	70	19
	C-2 国内劇団の海外公演 Performances in Abroad by Japanese Artists	40	6	12,000,000	1	0
	C-3 海外劇団の招聘公演 Performances in Japan by Foreign Artists	17	3	5,000,000	0	0
合計 total		351	46	128,644,000	87	30

資金助成の概況
Summary of Financial Support



資金助成の概況
Summary of Financial Support

分野 category	年度申請件数 year	申請件数 number of applications	助成件数 number of grants made	助成金額(¥) grant in yen
現代演劇・舞踊助成 Contemporary Theatre and Dance Grants	1987-90	156	78*	368,859,000
	1991	109	27	115,208,000
	1992	133	35	120,973,000
	1993	210	46	113,250,000
	1994	351	46	128,644,000
	累計 total	959	232	846,934,000
特別助成 Special Project Support Grants	1987-90	43	23	185,164,000
	1991	28	20	64,466,000
	1992	23	17	85,617,000
	1993	20	16	62,500,000
	1994	14	12	31,350,000
	累計 total	128	88	429,097,000

*1989年度の中止案件3件は除く Excludes 3 grants cancelled in fiscal 1989

助成事業

GRANT PROGRAMS

現代演劇・舞踊助成 Contemporary Theatre and Dance Grants

資金助成:計46件/128,644,000円
Grants: ¥128,644,000 for 46 organizations and individuals

スタジオ助成:計30件
Studio Rental: 30 organizations and individuals

A

創造環境整備
Creative Environment Improvement

A-1
創造環境整備活動
(13件/18,600,000円)
Creative Environment Improvement
(¥18,600,000 for 13 organization and individuals)

佐藤郁哉
調査研究「アーツ・アドミニストレーターの業務とその社会機能に関する文化生産論的研究」
1994年6月1日～95年3月31日
東京、名古屋、京都、大阪、ニューヨーク
1,000,000円
IKUYA SATO
Research project, "The Managing Director: An Ethnography of Small Theaters in Japan"
June 1, 1994-March 31, 1995
Tokyo, Nagoya, Kyoto, Osaka, New York
¥1,000,000

米屋尚子
調査研究「アメリカにおけるアーツ・アドミニストレーション教育/研修の調査研究」
1994年8月～95年3月
ニューヨーク他
500,000円
NAOKO YONEYA
Research project, "Research on Arts Administration Education/Training in the U.S."
August 1994-March 1995
New York, etc.
¥500,000

中山夏織
調査研究「英国のアーツマネージメント教育の理念と課題及び日本人留学生の課題に関する調査・研究」
1994年6月1日～95年2月15日
ロンドン
500,000円
KAORI NAKAYAMA
Research project, "The Practice and Future Issues of the Arts Management Education & Training in the United Kingdom"
London

June 1, 1994-February 15, 1995
¥500,000

ハワイ大学
扇田昭彦著「現代演劇の航海」英訳出版
1994年～96年
ホノルル
1,000,000円
UNIVERSITY OF HAWAII
Publication in English translation,
"The Voyage of Contemporary Japanese Theatre" by Akihiko Senda
1994-1996
Honolulu
¥1,000,000

国際演劇評論家協会日本センター(AICT)
演劇批評誌「シアター・アーツ 劇と批評」の創刊
1994年6月1日～95年5月31日
1,600,000円
ASSOCIATION INTERNATIONALE DES CRITIQUES DE THEATRE
Publication of Theater Journal, "Theater Arts"
June 1, 1994-May 31, 1995
¥1,600,000

THEATRICAL ACTION 21
ラヴォン・ミューラー教授による劇作ワークショップとシンポジウムの開催

1994年8月24日～28日
東京(俳優座劇場)
1,000,000円
THEATRICAL ACTION 21
Workshop Production of "Play Wrighting Workshop by Lavonne Muller"
August 24-28, 1994
Tokyo (Haiyuzza-Theatre)
¥1,000,000

東京国際舞台芸術フェスティバル実行委員会
「東京国際舞台芸術フェスティバル '95」開催準備
1994年7月～95年5月
東京
3,000,000円
TOKYO INTERNATIONAL FESTIVAL OF PERFORMING ARTS '95 EXECUTIVE COMMITTEE
Preparative work for "Tokyo International Festival of Performing Arts '95"
July 1994-May 1995
Tokyo
¥3,000,000

早稲田大学坪内博士記念演劇博物館
演劇博物館振興基金
1994年度分
東京
1,000,000円



Lavonne Muller at her "Play Wrighting Workshop"

THE TSUBOUCHI MEMORIAL THEATRE
MUSEUM, WASEDA UNIVERSITY
Fund-raising for The Theatre Museum Fund
¥1,000,000 (for fiscal year 1994)

アンクリエイティブ
コンテンポラリーダンス・リサーチ・プロジェクト
1994年4月～95年3月
東京
2,000,000円
AN CREATIVE INC.
Contemporary Dance Research Project
April 1994-March 1995
Tokyo
¥2,000,000

日本演出者協会
日中演劇フォーラム「1995年日中演出家会議」の開催
1995年1月20日～25日
東京(パナソニック・グローブ座)
3,000,000円
JAPANESE THEATRE DIRECTORS
ASSOCIATION
Producing conferences for "1995 Theater
Forum: Japan-China"
January 20-25, 1995
Tokyo (The Tokyo Globe)
¥3,000,000

助川たかね
コロンビア大学ビジネススクール&ティーチャーズカレッジへの留学(アーツ・アドミニストレーション専攻)
1994年6月1日～95年5月31日
ニューヨーク
1,000,000円
TAKANE SUKEGAWA
Study program: Columbia University,
Graduate School of Business & Teachers
College, MBA in Arts Administration
June 1, 1994-May 31, 1995
New York
¥1,000,000

金田朋子
ロンドン・シティ大学ポリシー&マネジメント学部への留学
1994年7月～95年8月
ロンドン
1,000,000円
TOMOKO KANATA
Study program: City University, Department
of Arts Policy & Management, MA in Arts
Criticism
July 1994-August 1995
¥1,000,000

山海塾写真集刊行委員会
山海塾写真集『UNETSU』の発刊
1994年6月24日
2,000,000円
UNETSU PUBLICATION COMMITTEE
Publication of "UNETSU" (photograph
collection of "UNETSU" by SANKAI-JUKU)
June 24, 1994
¥2,000,000

A-2
コロンビア大学アーツマネジメント留学
(1件/5,644,000円)
Study Program in Arts Administration at
Teachers College, Columbia University
(¥5,644,000 per scholar)

玉虫美香子
1994年9月～95年6月
5,644,000円
MIKAKO TAMAMUSHI
September 1994-June 1995
¥5,644,000



MODE "Kikasete-yo Ai no Kotoba o (Speak Love to Me)" Photo by Katsu Miyauchi

B

創造過程・運営
Creative Process Improvement

B-1
国内劇団の年間活動
(5件/60,000,000円)

Administrative Support to Japanese
Theatre and Dance Companies
(¥60,000,000 for 5 companies)

1994年度より
Since 1994

MODE
12,000,000円
MODE
¥12,000,000

燐光群
12,000,000円
RIN-KO-GUN
¥12,000,000

1993年度より
Since 1993

ダムタイプ
12,000,000円
DUMB TYPE
¥12,000,000

1992年度より
Since 1992

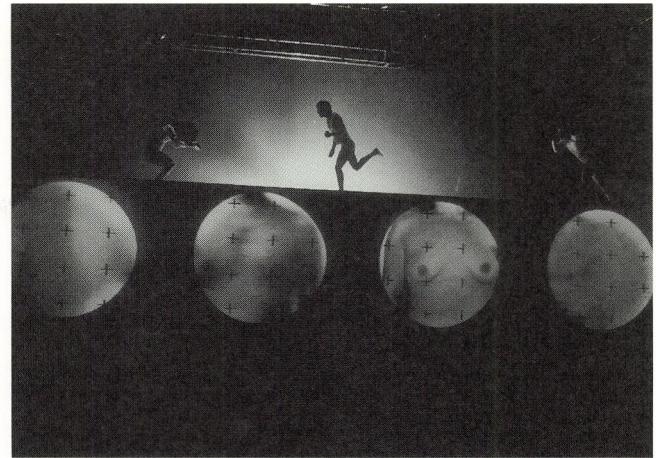
新宿梁山泊
12,000,000円



"1995 Theater Forum: Japan-China"



RIN-KO-GUN "Gravepost of the Whales"



DUMB TYPE "S / N"

SHINJUKU RYOZANPAKU
¥12,000,000

パパ・タラフマラ
12,000,000円
PAPPA TARAHUMARA
¥12,000,000

ク・ナウカ
日米合作「トゥーランドット」公演及びワークショップ
の開催

1994年9月28日～10月16日
アトランタ(ブレイハウス)、シアトル(ネッド・スキナー・ホール)、東京(草月ホール)
2,000,000円
KU・NA'UKA
"Turandot" and workshops on producing
September 28-October 16, 1994
Atlanta (14th St. Play House), Seattle (The Ned Skinner Hall), Tokyo (Sogetsu Hall)
¥2,000,000



C-1
国内劇団の国内公演
(15件/21,400,000円)
Performances in Japan by Japanese
Artists
(¥21,400,000 for 15 artists / organizations)

B-2
共同創造活動
(3件/6,000,000円)
Collaborations with Japanese Artists
(¥6,000,000 for 3 organizations)

東京ドイツ文化センター
日独共同創造事業「シナの長城」準備活動
1995年4月18日～28日
東京
1,000,000円
GOETHE-INSTITUTE TOKYO
Preparations for "Beim Bau der Chinesischen Mauer", worked out by Heiner Goebbels
April 18-28, 1995
Tokyo
¥1,000,000

シアタープロジェクト・東京(TPT)
「ヘッダ・ガブラー」「エリーダー～海の婦人～」他公演の
制作及びワークショップの開催
1994年5月～95年4月
東京(ベニサンピット)、大阪(近鉄アート館)、兵庫(新神戸オリエンタル劇場)
3,000,000円
THEATRE PROJECT・TOKYO
Production of "Hedda Gabler" "The Lady From The Sea" etc. and workshops
May 1994-April 1995
Tokyo (Benisan Pit), Osaka (The Museum of Art, Kintetsu), Hyogo (Sin-Kobe Oriental Theater)
¥3,000,000

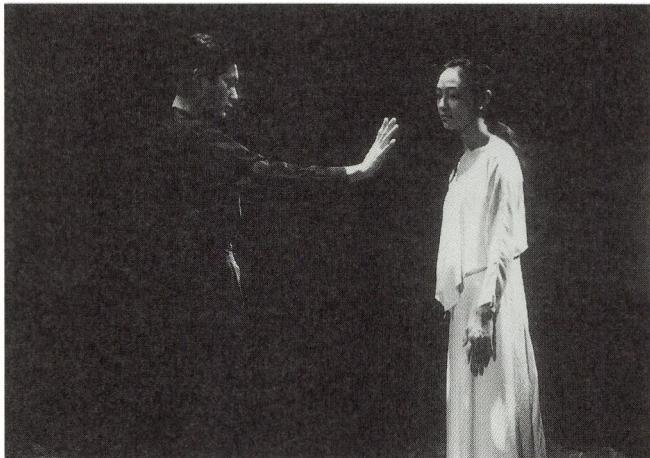


TPT "Hedda Gabler"

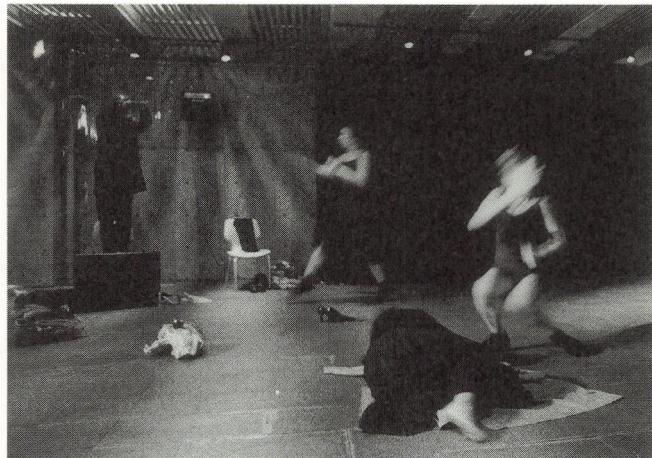
Leni-Basso(レニ・バッソ)
「The Crying Cherry Tree」公演
1994年7月29日～31日
東京(北沢タウンホール)
2,000,000円
LENI-BASSO
"The Crying Cherry Tree"
July 29-31, 1994
Tokyo (Kitazawa Town Hall)
¥2,000,000

風煉ダンス
「スカラベ」公演
1995年10月21日～30日
福岡(警固公園)
2,000,000円
FU-REN DANCE
"SU-KA-RA-BE"
October 21-30, 1994
Fukuoka (Kego-Park)
¥2,000,000

ZAZOUS THEATER
「Loony」公演
1995年4月5日～14日
東京(青山円形劇場)
2,000,000円
ZAZOUS THEATER
"Loony"



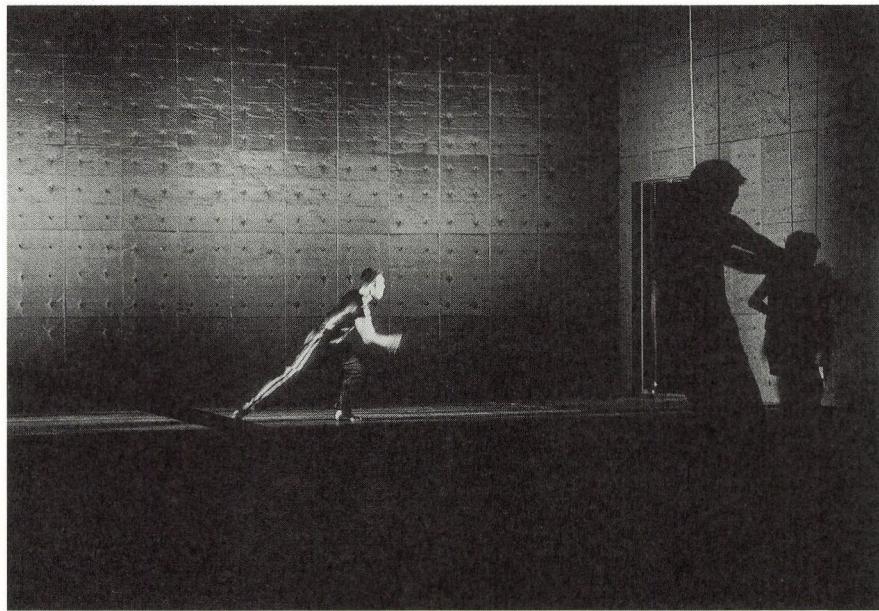
ZAZOUS THEATER "Loony" Photo by Ryuta Akimoto



DA・M "Dream" Photo by Ritsuko Kanbayashi



STUDIO EVE "Pictures at an exhibition"
Photo by Fumio Takashima



KOTA YAMAZAKI "Traffic" Photo by Nobutoshi Takagi

April 5-14, 1995
Tokyo (Aoyama Amphi-Theater)
¥2,000,000

パズリン・オフィス
クレズマー音楽劇「Doina～哀歌～」公演
1995年2月11日～19日
東京(シードホール)

1,000,000円

PUZZLIN' OFFICE
Klezmer Musical "Doina"
February 11-19, 1995
Tokyo (Seed Hall)
¥1,000,000

スタジオ イヴ
「INSTALLATION MUSIC '95 展覧会の絵」
公演
1995年2月10日～12日
東京(シアターX)
1,000,000円

STUDIO EVE
"Installation Music '95-Pictures at an exhibition"
February 10-12, 1995
Tokyo (Theater X)
¥1,000,000

青空美人
「サディスティクスー1994東京ラビアンローズー」公演
1994年12月8日～11日
東京(東京芸術劇場小ホールI)
500,000円
AOZORA-BIJING
"Sadistics —1994 Tokyo La Vie en Rose—"
Tokyo (Mini Hall, Tokyo Metropolitan Art Space)
¥500,000

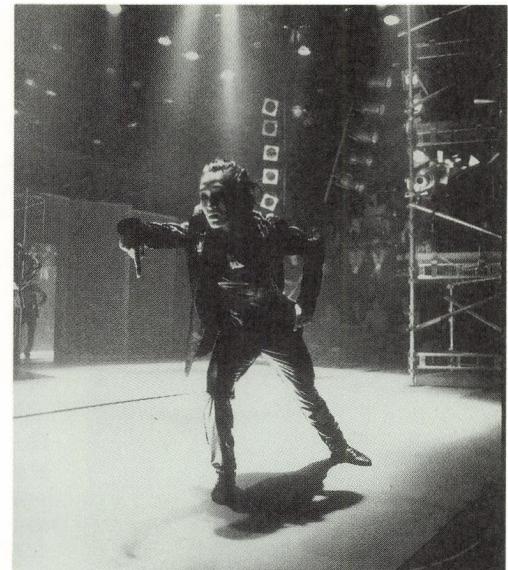
DA・M
連作「夢」1～3公演
1994年6月17日～19日、10月21日～23日、
1995年3月25日、26日

東京(プロトシアター)
1,500,000円
DA・M
"Dream" Vol.1～3
June 17-19, 1994, October 21-23, 1994,
March 25-26, 1995
Tokyo (Proto-theater, East Gallery)
¥1,500,000

ロマンチカ
ギリシア悲劇シリーズ「メティア」公演
1994年11月19日～12月11日
東京(シードホール)
2,000,000円
ROMANTICA
"Medea"
November 19-December 11, 1994
Tokyo (Seed Hall)
¥2,000,000



SEINENDAN "Tokyo Note" Photo by Yuichi Sato



NEST "Q. E. D." Photo by Tatsuo Rokudo

山崎広太

「TRAFFIC」公演

1994年8月26日～28日

東京(スペースゼロ)

1,500,000円

KOTA YAMAZAKI

「Traffic」

August 26-28, 1994

Tokyo (Space Zero)

¥1,500,000

青年団

「S高原から」公演

1994年8月3日～12月25日

東京(俳優座劇場)、松本(あがたの森講堂)、遊佐町・山形(ライブスペース筒井)、弘前(スタジオデネガ)、天王町・秋田(アイホーム本多劇場)、名古屋(七ツ寺共同スタジオ)、浜松(クリエート浜松)、伊丹(アイホール)、京都(京都府立文化芸術会館)、青森(青森中三トップハット)、仙台(仙台市青年文化センター)、盛岡(AUNホール)、東京(こまばアゴラ劇場)

2,000,000円

SEINENDAN

「S Kogen Kara」

August 3-December 25, 1994

Tokyo (Hayuza Gekijo), Matsumoto

(Agatanomori Kodo), Yuza-cho, Yamagata (Live Space Tsutsui), Tenno-cho, Akita (Ai Home Honda Gekijo), Nagoya (Nanatsudera Kyodo Studio), Hamamatsu (Creative Hamamatsu), Itami (Ai Hall), Kyoto (Kyoto Furitsu Bunka Geijutsu Kaikan), Aomori (Aomori Nakasan Top Hat), Miyagi (Sendai City Youth Cultural Center), Morioka (Nakasan Aun Hall), Tokyo (Komaba Agora Gekijo)

¥2,000,000

H・アール・カオス

「ホメオティック・ジーン」公演

1995年2月26日～3月1日

東京(スパイラルホール)

1,500,000円

H・ART・CHAOS

“Homoeotic gene”

February 26-March 1, 1995

Tokyo (Spiral Hall)

¥1,500,000

銀幕遊学◎レプリカント

「ASPHALT OPERA #10—バレエ・メカニックのための未完成舞曲」公演

1994年7月23日、24日

大阪(全興寺)

400,000円

GIMMAKU-YUGAKU REPLICANT

“ASPHALT OPERA #10—The unfinished dance music for BALLET MÉCANIQUE”

July 23-24, 1994

Osaka (Senko-ji)

¥400,000

Nest

「Q.E.D.」公演

1994年9月17日～19日

東京(ラフォーレミュージアム原宿)

2,000,000円

NEST

“Q.E.D.”

September 17-19, 1994

Tokyo (Laforet Museum Harajuku)

¥2,000,000

Fuらっぷ斜

「彼女の時の時—ブルースとジュネの作品より」公演

1994年8月31日～9月4日

東京(下北沢駅前劇場)

1,000,000円

FU—RAP COMPANY

“Time of Her Time”

August 31-September 4, 1994

Tokyo (Ekimae Theater, Shimokitazawa)

¥1,000,000

東京ギンガ堂

「クレイジー・フルーツ」公演

1994年9月14日～20日

東京(ザ・スズナリ)

1,000,000円

TOKYO GINGA DOU

“Crazy Fruits—Yumeno Kyusaku & Dogu ramagura”

September 14-20, 1994

Tokyo (the Suzunari)

¥1,000,000

C-2

国内劇団の海外公演

(6件/12,000,000円)

Performances Abroad by Japanese Artists

(¥12,000,000 for 6 organizations)

劇団銅鑼

「センポ・スギハラ」リトニア公演

1994年8月23日～9月7日

ビリニユス(リトニア国立アカデミードラマ劇場)、カウナス(カウナス国立アカデミードラマ劇場)

1,000,000円

DORA THEATRICAL COMPANY

Performances in Lithuania, “Sempo Sugihara”

August 23-September 7, 1994

Vilnius (Lithuania State Academik Dorama Theater), Kaunas (Kaunas State Academik Dorama Theater)

¥1,000,000

竹内登志子&Dancers

「タンゴのための4人+1」ウィーン芸術週間参加ほかヨーロッパ公演

1994年9月22日～10月4日

ウィーン(アウグンブリック劇場)、プラティスラバ(カルチャーハウス劇場)、フランクフルト(プロトファブリック)



TOSHIKO TAKEUCHI & DANCERS DANCE COMPANY
"Four for Tango +1" Photo by Bettina Frenzel

2,000,000円

TOSHIKO TAKEUCHI & DANCERS
Performances in Europe, "Four for Tango +1"

September 22-October 4, 1994
Wien (Theater des Augenblocks), Bratislava (Dom Kultú ry Ruzinov), Frankfurt (Brotfabrik)
¥2,000,000

勅使川原三郎+KARAS

「HERE TO HERE」、「NOJECT」ヨーロッパ公演
1995年1月19日～2月20日

フランクフルト(テアター・アム・トゥルム)、アントワープ(デジンゲル)、パリ(ラ・フェルム・ド・ブイッソン)、パルセロナ(メルカト・デ・フロール)、モブージュ(ラ・ルナ)

3,000,000円

SABURO TESHIGAWARA+KARAS
Performances in Europe, "Here to Here" and "Noject"

January 19-February 20, 1995
Frankfurt (Teater am Turm), Antwerp (De Singel), Paris (La Ferme de Bouisson), Barcelona (Mercat des Flors), Maubeuge (Le Luna)
¥3,000,000

バニヨレ国際振付賞日本事務局

第4回バニヨレ国際振付賞大会への日本代表
(山崎広太、竹内登志子)の派遣

1994年6月15日～6月19日

バニヨレ(ボビニ劇場)

2,000,000円

BUREAU JAPONAIS DES RENCONTRES DE BAGNOLET

Sending Japanese representatives (Kota Yamazaki and Toshiko Takeuchi) to the "IVes Rencontres Chorégraphiques Internationales de Bagnolet"

June 15-19, 1994

Bagnolet (Bobigny)

¥2,000,000

竹屋啓子コンテンポラリー・ダンス・カンパニー

「東風」インドネシア、タイツアー

1994年11月17日～12月1日

バンコク(バンコク・プレイハウス)、ジャカルタ(タマン・イスマイル・マルズキ)、ソロ(タマン・ブダヤ・スラカルタ)
2,000,000円

KEIKO TAKEYA CONTEMPORARY DANCE COMPANY

Performances in Indonesia and Thailand,
"Dong Feng"

November 17-December 1, 1994

Bangkok (Bangkok Play House), Jakarta (Taman Ismail Marzuki), Solo (Taman Budaya Ismail)
¥2,000,000

ローザンヌ国際バレエコンクール日本事業部/

舞台振興財団(スイス)

1995年ローザンヌ国際バレエコンクール・モスクワ開催

1995年1月26日～2月5日

ローザンヌ(ボリュ劇場)、モスクワ(ボリショイ劇場)
2,000,000円

FONDATION EN FAVEUR DE L'ART CHOREGRAPHIQUE (Switzerland)

"Prix de Lausanne 1995" in Moscow

January 26-February 5, 1995

Lausanne (The Beaulieu Theatre), Moscow (The Bolshoi Theatre)
¥2,000,000

文化交流会館)、京都(京都会館第2ホール)、大阪(大阪厚生年金会館中ホール)、名古屋(愛知県芸術劇場大ホール)、横浜(横浜市民文化会館内ホール大ホール)、宇都宮(栃木県総合文化センターインホール)、仙台(仙台サンプラザコンサートホール)、東京(なかのゼロ大ホール)

1,000,000円

ACTION RESEARCH CO., LTD.

Inviting "Cak peliatan Spectacle" from Bali August 6-25, 1994

Niigata (The Niigata Prefectural Civic Center), Nagaoka (Nagaoka Municipal Auditorium), Johetsu (Johetsu Bunka Kaikan), Kudamatsu (The Mall Shunan Center Park), Miyazaki-village (Echizen Pottery Village Cultural Exchange Hall), Kyoto (Kyoto Kaikan 2 Hall), Osaka (Osaka Kousei Nenkin Culture and Service Center), Nagoya (Aichi Prefectural Art Theater), Yokohama (Yokohama-shi Shimin Bunka Kaikan Kan-nai Hall), Utsunomiya (Tochigi Prefectural Culture Center Main Hall), Sendai (Sendai Sunplaza Hall), Tokyo (Nakano ZERO)
¥1,000,000

劇団ティオペペ(韓国)

「巫女図ームニヨドー」公演

1994年10月4日～5日

東京(東京芸術劇場小ホール)

1,000,000円

TIO PEPE THEATRE COMPANY (Korea)

"MUNYO-DO"

October 4-5, 1994

Tokyo (Tokyo Metropolitan Art Space)

¥1,000,000

C-3

海外劇団の招聘公演

(3件/5,000,000円)

Performances in Japan by Foreign Artists

(¥5,000,000 for 3 organizations)

DANCE CANADA '94 PLUS ONE実行委員会

「ダンスカナダ'94 プラス ワン」の開催(テロジエ・ダンス・シアター、トロント・ダンス・シアター、カレン・ジェイミソン・ダンス・カンパニー、オーベルティーゴ・ダンスの招聘)

1994年9月21日～12月11日

東京(東京芸術劇場、青山円形劇場、パルコ劇場)

3,000,000円

DANCE CANADA '94 PLUS ONE
EXECUTIVE COMMITTEE

Inviting Canadian Companies (Desrosiers Dance Theater, Toronto Dance Theater, Karen Jamieson Dance Company and O Vertigo Danse) to the "Dance Canada '94 Plus One" festival

September 21-December 11, 1994

Tokyo (Tokyo Metropolitan Art Space, Aoyama Amphi Theater, Parco Theater)
¥3,000,000

アクション・リサーチ

「スマラドヤラ・ケチャ日本公演 '94」の招聘公演

1994年8月6日～25日

新潟(新潟県民会館大ホール)、長岡(長岡市立劇場大ホール)、上越(上越文化会館大ホール)、下松(ザ・モール周南中央広場)、宮崎村(福井県越前陶芸村



TIO PEPE THEATRE COMPANY "MUNYO-DO"

スタジオ助成 Studio Rental



A-1 創造環境整備活動

(11件)
Creative Environment Improvement
(11 artists / organizations)

ワークショップ・レクチャー Workshops & Lectures

NODA・MAP
1995年度新作ワークショップの開催
1994年6月1日～7月31日

NODA・MAP
Workshop for new work
June 1-July 31, 1994

和栗由紀夫+好善社
舞踏メソッドワークショップ「舞踏への誘い」の開催
1994年6月24日～26日、10月14日～16日、
95年4月21日～23日、7月21日～23日

YUKIO WAGURI+KOZENSHA
Butoh Workshop
June 24-26, October 14-16, 1994, April 21-
23, and July 21-23, 1995

クリエイティブ・アート実行委員会
「'94サマー・アート・スクール」の開催
1994年8月2日～4日

CREATIVE ART COMMITTEE
"94 Summer Art School"
August 2-4, 1994

ヴィジュアル・エイズ東京インスラーションスタッフ
「ラブ・ポジティブ」札幌・東京・京都共同プロジェクト
の実施

1994年8月5日～13日
LOVE POSITIVE COLLABORATION OF
SAPPORO, TOKYO, KYOTO
"Love Positive"
August 5-13, 1994

S.Y.S
「ペーター・ゴス・スタージュ」の開催
1994年8月15日～20日
S.Y.S.
"Peter Goss Stage"
August 15-20, 1994

現代演劇協会
「R.A.D.A イン東京94」の開催
1994年8月15日～9月2日
INSTITUTE OF DRAMATIC ARTS
"RADA in Tokyo '94"
August 15-September 2, 1994

岩下徹
岩下徹ダンスワークショップ「少しづつ自由になるた
めに」の開催
1994年9月20日～25日
TORU IWASHITA
Dance workshop
September 20-25, 1994

サード・ステージ
「鴻上尚史のワークショップ」の開催
1994年12月12日～95年2月28日
THIRD STAGE CO.
Workshop, directed by Shoji Kokami
December 12, 1994-February 28, 1995

ドラマ・スタジオ
ワークショップ「ドラマスタジオ」の開催
1995年4月1日～6月30日

Workshop, "Drama Studio"
April 1-June 30, 1995

守永美香ダンス・カンパニー
「コンテンポラリー・ダンス・ワークショップ」の開催
1995年7月1日～2日
MIKA MORINAGA DANCE CO.
"Contemporary Dance Workshop"
July 1-2, 1995

舞踊集団Nomade～s
ダンスワークショップの開催
1995年3月13日～22日
DANCE COMPANY NOMADE～s
Dance workshop
March 13-22, 1995



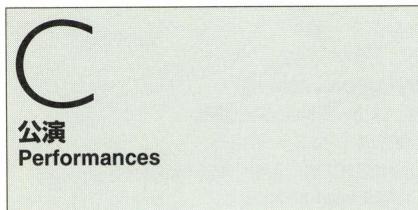
Hana Kino at her "Drama Studio" Workshop



DANCE COMPANY NOMADE～s Workshop



"Peter Goss Stage"



C-1
国内劇団の国内公演
 (19件)
Performances in Japan by Japanese Artists
 (19 artists / organizations)

公演稽古
Rehearsals for Performances

岩松アプロデュース・ユニット
 「アイスクリームマン」公演稽古
 1994年4月4日～10日
 RYO IWAMATSU PRODUCE UNIT
 Rehearsal for "Ice-cream Man"
 April 4-10, 1994

NOISE
 「朝、冷たい水で」公演稽古
 1994年4月11日～5月10日

NOISE
 Rehearsal for "Asa, Tsumetai Mizu de"
 April 11-May 10, 1994

第三工口チカ
 「クリシェ」公演稽古
 1994年5月11日～6月14日
 DAISAN EROTICA
 Rehearsal for "Cliché"
 May 11-June 14, 1994

かもねぎショット
 「明日からの伝言」公演稽古
 1994年7月1日～31日

KAMONEGI-SHOT
 Rehearsal for "On a Day that Wants a Reason"
 July 1-31, 1994

演劇企画集団THE ガジラ
 「アプレガール」公演稽古
 1994年9月3日～19日
 GAZIRA
 Rehearsal for "apres—guerre"
 September 3-19, 1994

パルコ事業局制作部
 「イルマ・ヴェップの謎」公演稽古
 1994年9月26日～10月13日
 PARCO CO., LTD., THEATRE DEPT.
 Rehearsal for "The Mystery of Iruma Vep"
 September 26-October 13, 1994

山の手事情社
 「コーラっぽいの」公演稽古
 1994年10月27日～11月20日
 YAMANOTE JIJOSYA COMPANY
 Rehearsal for "An Impression of Cola"
 October 27-November 20, 1994

カンパニー・レゾナンス
 「ESCAPE ON THE CUTTING BOARD」
 公演稽古
 1994年10月6日～26日
 COMPANY RESONANCE
 Rehearsal for "Escape on the Cutting Board"
 October 6-26, 1994

珍しいキノコ舞踊団
 「～の価値もない」公演稽古
 1994年11月21日～30日
 STRANGE KINOKO DANCE CO.
 Rehearsal for "～of no value"
 November 21-30, 1994

鈴木美緒
 「太陽のぬけがら」公演稽古
 1995年1月10日～12日
 MIO SUZUKI
 Rehearsal for "deep inside ~to the Sun"
 January 10-12, 1995



DAISAN EROTICA Rehearsal

遊園地再生事業団

「ヒネミ」公演稽古

1995年1月13日～17日

YUENCHI SAISEI JIGYODAN #5

Rehearsal for "Hinemi"

January 13-17, 1995

山田せつ子+枇杷系

「森一月ノ蜜ヲ採ル」公演稽古

1995年1月18日～25日、2月7日～15日

SETSUKO YAMADA+BIWA-KEI

Rehearsal for "Woods—Gathering Honey of the Moon"

January 18-25, February 7-15, 1995

プラチナ・ペーパーズ

「ザ・中学教師3」公演稽古

1995年1月26日～2月6日

PLATINUM PAPERS

Rehearsal for "The Junior High School Teacher 3"

January 26-February 6, 1995

大人計画

「COUNT DOWN」公演稽古

1995年3月1日～12日

OTONA KEIKAKU

Rehearsal for "Count Down"

March 1-12, 1995

ATA DANCE

「Y?」公演稽古

1995年3月23日～31日

ATA DANCE

Rehearsal for "Y?"

March 23-31, 1995

永谷亞紀プロデュース

「或る春の予感のする日に」公演稽古

1995年4月1日～20日

AKI NAGATANI

Rehearsal for "Aruharu no Yukan no Suru Hini"

April 1-20, 1995

ナイロン100°C

「ウチハソバヤジャナイ Version 100°C」公演稽古

1995年4月24日～30日

NYLON 100°C

Rehearsal for "Uchiwa Sobaya Ja Nai, Version 100°C"

April 24-30, 1995

シリバーライニング

「グッド・ドクター」公演稽古

1995年5月1日～24日

KK. SILVER LINING

Rehearsal for "The Good Doctor"

May 1-24, 1995

劇団扉座

「曲り角の悲劇」公演稽古

1995年7月3日～20日、24日～31日

TOBIRAZA

Rehearsal for "Tragedy at the Corner"

July 3-20, 24-31, 1995

森下スタジオ MORISHITA STUDIO

本年度4月1日より、昨年度末に竣工した森下スタジオでの事業が開始された。

本年度は、A、B 2つのスタジオが助成事業の一環として公募により一般貸与(スタジオ助成)されたほか、財団の自製作事業等の開催会場として使用された。

A・Bスタジオ併せて開館日数は968日(初年度のため変則16ヶ月)、うち稼働日は925日、充足率にして96%と活発な利用がなされている。うち67%を助成事業が、30%を自主事業が、その他の使用者が3%を占めている。また、助成および自主製作事業の使用目的別にみると、公演の稽古が55%、ワークショップが32%、シンポジウムその他の会場として使用されたのが1%である。

稽古場不足の実状から公演の稽古場としての用途が半分を占めている。また、森下スタジオ開館にあたって創造環境整備の支援という面を標榜した結果、ワークショップの会場としても活発に使用され、クラス間に刺激と交流をもたらす相乗効果を生んだ。さらに、シンポジウム、その他の会場としても有効であることが確認された。

使用者たちの報告では、おおむね建物設備、管理体制などは好評であり、森下スタジオの貸与によって、経済的、精神的にゆとりのある公演稽古・ワークショップが実施でき、作品・内容の質的向上、実験的な試みを図ることができたという声をいただいている。

Morishita Studio opened its doors on April 1, 1994, after its completion at the end of 1993. During its first year, the studio's two rooms were rented through the Studio Rental Program and were also used for the Sponsorship Program. Both rooms were open for 968 days during the first 16 months, and were used for 925 days, which equals to an occupation rate of 96 percent. Sixty-seven percent of studio time was used for the rental program, while 30 percent was for the sponsorship program and three percent for other activities. Furthermore, 55 percent of the studio time allocated to the two programs combined was for performance rehearsals, and 32 percent was for workshops, plus one percent for symposia and other events. The fact that more than half of the total studio time was used for rehearsals reflects the chronic shortage of such space in Japan. Moreover, the studio, which was built also as a means to improve the creative environment, was used actively for workshops, where synergistic effects, such as communication among different companies using the studio at the same period, were to be observed. In addition, the studio proved to be useful for symposia as well.

Artists and organizations who used the studio gave positive feedback on the studio's facilities and management, and also expressed that the Studio Rental Program enabled them to hold rehearsals and workshops in a relaxed atmosphere as the program minimized their financial concerns, and let them concentrate more on improving and experimenting on their works.

その他の臨時使用者(7件)

Other Users (7 artists/organizations)

米井澄江 アンド ダンサー

「箱の中のメヌエット」公演稽古

1994年10月24日～27日

SUMIE YONEI & DANCERS

Rehearsal for "Minuet in the Box"

October 24-27, 1994

木佐貫邦子

「Inner Garden」公演稽古

1994年12月6日

KUNIKO KISANUKI

Rehearsal for "Inner Garden"

December 6, 1994

仲野恵子

「Life Tide」公演稽古

1995年5月27日、30日、31日、6月19日

KEIKO NAKANO

Rehearsal for "Life Tide"

May 27, 30, 31, June 19, 1995

青春五月党

「グリーンベンチ」公演稽古

1995年6月13日～18日

SEISHUN GOGATSU-TO

Rehearsal for "Green Bench"

June 13-18, 1995

株式会社アンクリエイティブ

「インテンシブ ムーブメント ワークショップ」の開催

1994年6月18日、19日、30日

AN CREATIVE INC.

“Intensive Movement Workshop”

June 18, 19, 30, 1994

水嶋一江カナダ・ツアーレポート会議

「水嶋一江カナダ・ツアーレポート会議」

1994年10月1日

KAZUE MIZUSHIMA CANADA TOUR REPORT PROJECT

Lecture and reception, "Kazue Mizushima Canada Tour Report"

October 1, 1994

プリスム株式会社

ワークショップ及びレクチャー「変貌するイスラエル・ダンス」の開催

1995年5月28日、29日

PRISME CO., LTD.

Workshop and lecture, "Transfiguration of Israeli Dance"

May 28-29, 1995

*下記2件については、予定されていた公演の延期等により助成を中止

The following 2 grants were cancelled due to the postponement of the intended performance.

プラチナ・ペーパーズ

12月公演稽古

1994年11月6日～12月11日

PLATINUM PAPERS

Rehearsal for performance in December, 1994

November 6-December 11, 1994

ダンス・プロダクション

テーマ・シリーズ「さわぐ」公演稽古

1995年3月1日～31日

DANCE PRODUCTION

Rehearsal for "Sawagu"

March 1-31, 1995

特別助成 Special Project Support Grants

資金助成:計12件/31,350,000円
Grants: ¥31,350,000 for 12 organizations and individuals

VASCO出版

「Japanese Libraryシリーズ」の出版

1995年春

ポーランド

2,000,000円

VASCO PUBLISHER

Publication of series of "Biblioteka

Japońska"

1994-1995

Poland

¥2,000,000

アジアン・カルチュラル・カウンシル

日米芸術交流プログラム

1995年1月～12月

ニューヨーク、東京

10,000,000円

ASIAN CULTURAL COUNCIL

Japan—United States Arts Program

January-December, 1995

New York, Tokyo

¥10,000,000

みやこうせい

「ルーマニア民俗写真展」開催

1995年10月～12月

フランス

2,000,000円

KOUSEI MIYA

Photo Exhibition on Rumanian folklore

October-December, 1995

France

¥2,000,000

中国社会科学院

現代日本研究センター日本関連講座

1994年度

北京

5,000,000円

INSTITUTE OF ECONOMICS, CHINESE ACADEMY OF SOCIAL SCIENCE

Study Program in Japanese Economics and Culture

For fiscal 1994

Beijing

¥5,000,000

田窪恭治サン・ヴィゴール・ド・ミュー礼拝堂プロジェ

クト支援委員会

田窪恭治サン・ヴィゴール・ド・ミュー礼拝堂プロジェ

クト

1994年度

フランス

1,000,000円

PROJET POUR LA CHAPELLE DE ST. VIGOR DE MIEUX PAR TAKUBO SECRETARIAT DE TOKYO

Projet pour la Chapelle de St. Vigor de Mieux

For fiscal 1994

¥1,000,000

神奈川芸術文化財団

歌劇「素戔鳴」公演

1994年10月30日～11月3日

横浜(神奈川県民ホール)



"Susano-o" Act 1

2,000,000円

KANAGAWA ARTS FOUNDATION

Production of Opera, "Susano-o"

October 30-November 3, 1994

Yokohama (Kanagawa Kenmin Hall)

¥2,000,000

Fukushima (The Kuimaru Cultural Re-education Center)

¥200,000

京都国際女性映画週間シンポジウム実行委員会

京都国際女性映画週間シンポジウム「映像が女性で輝くとき」の開催

1994年9月27日～29日

京都(法然院)

3,000,000円

KYOTO INTERNATIONAL WOMEN'S FILM WEEK SYMPOSIUM EXECUTIVE COMMITTEE

Symposium, "Feminine Brilliance on Screen"

September 27-29, 1994

Kyoto (Honen-in)

¥3,000,000

フェスティバル春実行委員会

「日仏文化政策交流シンポジウム」の開催

1995年4月4日

東京(国際交流基金・国際会議場)

500,000円

THE COMMITTEE OF FESTIVAL HALOU

Symposium production

April 4, 1995

Tokyo (Japan Foundation Conference Hall)

¥500,000

財団法人国民経済研究協会

「ロシア経済の再建と戦後日本の産業合理化政策に関する調査研究」ロシア語翻訳プロジェクト

1995年1月10日～5月31日

東京

650,000円

RESEARCH INSTITUTE OF THE NATIONAL ECONOMY

Russian translation of "Adapting the Japanese Experience of Post-war Economic Reconstruction for Russia"

January 10-May 31, 1995

Tokyo

¥650,000



WOPP "Mibiji no Hate (The End of the Journey)" Photo by Katsu Miyauchi

自主制作事業

SPONSORSHIP PROGRAMS

森下スタジオ開館記念事業 Events Related to the Opening of Morisita Studio

アートマネジメントセミナー「日本型アートマネジメントの展望と21世紀の劇団経営」

講師:衛紀生/高萩宏/水谷内助義/柴田英杞/

石川聖子/吉井省也/米屋尚子

1994年4月2日

森下スタジオ

Seminar "Arts Management-In Search of its Japanese Style"

Instructors: Norio Ei/Hiroshi Takahagi/

Sukeyoshi Mizuyachi/Eiko Shibata/

Seiko Ishii/Seiya Yoshii/Naoko Yoneya

April 2, 1994

at Morishita Studio, Tokyo

ワークショップ「演劇体験～演劇を身近に感じるため
に～」

講師:松本修(MODE)

1994年4月3日～4日

森下スタジオ

共催:企業メセナ協議会



KARAS Workshop

Workshop "Theatre Experiences-To Become Familiar with the Theatre"
Instructor: Osamu Matsumoto (MODE)
April 3-4, 1994
at Morishita Studio, Tokyo
In cooperation with the Association for Corporate Support of the Arts

セゾン文化財団ワークショップ1994

「カラスワークショップ」

ディレクター:勅使川原三郎

講師:勅使川原三郎+KARAS

第1期 1994年4月5日～5月28日

第2期 1994年8月6日～9月29日

第3期 1994年12月1日～95年3月22日

森下スタジオ

企画制作:セゾン文化財団/KARAS

The Saison Foundation Workshop 1994
"KARAS Workshop"

Director: Saburo Teshigawara

Instructors: Saburo Teshigawara+KARAS

Term 1: April 5-May 28, 1994

Term 2: August 6-September 29, 1994

Term 3: December 1, 1994-March 22, 1995

at Morishita Studio, Tokyo

Co-produced by The Saison Foundation/

KARAS

参加者:

ポリー・モットリー/サム・ミラー(アメリカ)、デディ・ルタン/
トム・イブナー(インドネシア)、米井澄江/吉井省也(日本)

共催:アジア・カルチュラル・カウンシル

助成:国際交流基金

TRIANGLE ARTS PROGRAM (TAP)

Program in Dance

August 22-September 18, 1994

at Jacob's Pillow Dance Festival,
Massachusetts, U.S.A.

October 6-24, 1994

at Jakarta Arts Center, Jakarta, Indonesia
November 7-27, 1994

at Morishita Studio, Tokyo, Japan

Participants: Polly Motley/Sam Miller from

U.S.A., Deddy Luthan/Tom Ibnu from

Indonesia, Sumie Yonei/Seiya Yoshii from Japan

In cooperation with the Asian Cultural Council

Supported by the Japan Foundation

セミナー Seminars

演劇制作者研修セミナー

講師:米屋尚子/高萩宏/大宮悌二/倉林誠一郎/

福島明夫/片山正夫

1994年5月24日～7月19日

東京(慶應義塾大学)

共催:慶應義塾大学アートセンター

ARTS MANAGEMENT SEMINAR FOR
THEATER MANAGERS

Instructors: Naoko Yoneya/Hiroshi Takahagi/
Teiji Omiya/Seiichiro Kurabayashi/
Akio Fukushima/Masao Katayama

May 24-July 19, 1994

at Keio University, Tokyo

In cooperation with the Research Center for
Arts Administration, Keio University

さっぽろ映像セミナー

講師:田村孟/崔洋一 他

1994年11月22日～28日



Seminar "Arts Management-In Search of its Japanese Style"



TAP, Program in Dance

札幌(NTT北海道セミナーセンタ)
共催:北海道映像文化振興会準備会
企画制作:西友
SAPPORO EIZO SEMINAR
Instructors: Tsutomu Tamura/Yoichi Sai, etc.
November 22-28, 1994
at NTT Hokkaido Seminar Center, Sapporo
In cooperation with Preparatory Committee for
Hokkaido Eizo Bunka Shinko-kai
Produced by The Seiyu, Ltd.

公演 Performances

ロイヤル・シェイクスピア・カンパニー

「冬物語」 *1

作: ウィリアム・シェイクスピア

演出: エイドリアン・ノーブル

1994年3月11日～4月7日

「恋の骨折り損」 *2

作: ウィリアム・シェイクスピア

演出: イアン・ジャッジ

1995年4月7日～29日

東京(銀座セゾン劇場)

共催: 朝日新聞社/テレビ朝日

後援: 文化庁/ブリティッシュ・カウンシル

企画制作: 銀座セゾン劇場

ROYAL SHAKESPEARE COMPANY

“The Winter's Tale” *1

By William Shakespeare

Directed by Adrian Noble

March 11-April 7, 1994

“Love's Labour's Lost” *2

By William Shakespeare

Directed by Ian Judge

April 7-29, 1995

at Ginza Saison Theatre, Tokyo

In cooperation with The Asahi Shimbun/

TV Asahi

Supported by the Agency for Cultural Affairs/

The British Council

Produced by the Ginza Saison Theatre

*1 1993年度、1994年度継続事業

For fiscal 1993 and 1994

*2 1994年度、1995年度継続事業

For fiscal 1994 and 1995

For fiscal 1994 and 1995

八ヶ岳高原音楽祭'94「祈りと音楽」

音楽監督: スヴァトスラフ・リヒテル

1994年9月22日～25日

長野(八ヶ岳高原音楽堂)

共催: 八ヶ岳高原音楽堂

企画制作: 西洋環境開発/八ヶ岳高原ロッジ

YATSUGATAKE MUSIC FESTIVAL '94

“Music & Prayer”

Artistic Director: Sviatoslav Richter

September 22-25, 1994

at Yatsugatake Kogen Ongaku-do, Nagano

In cooperation with Yatsugatake

Kogen Ongaku-do

Produced by The Seijo Corporation/

Yatsukatake Kogen Lodge



Photo by Masahiko Yakoh



Photo by Masahiko Yakoh

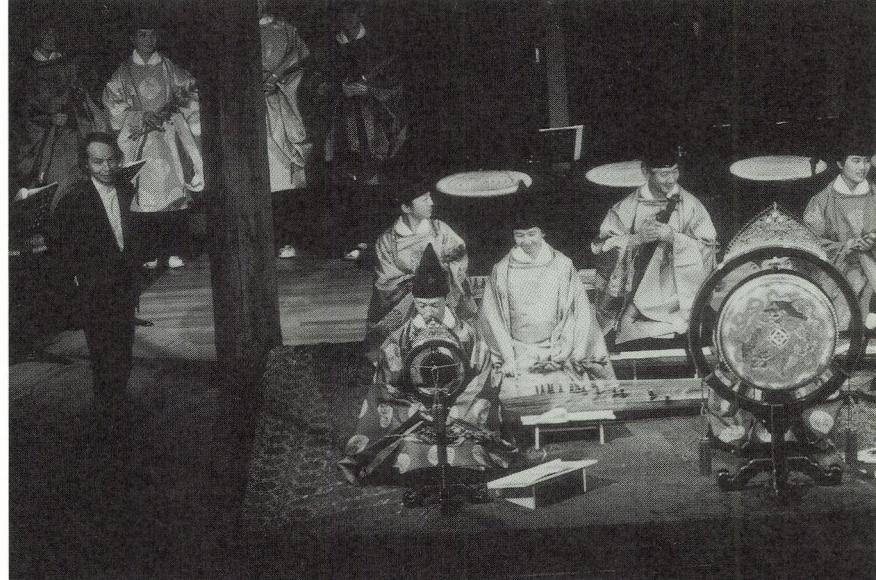
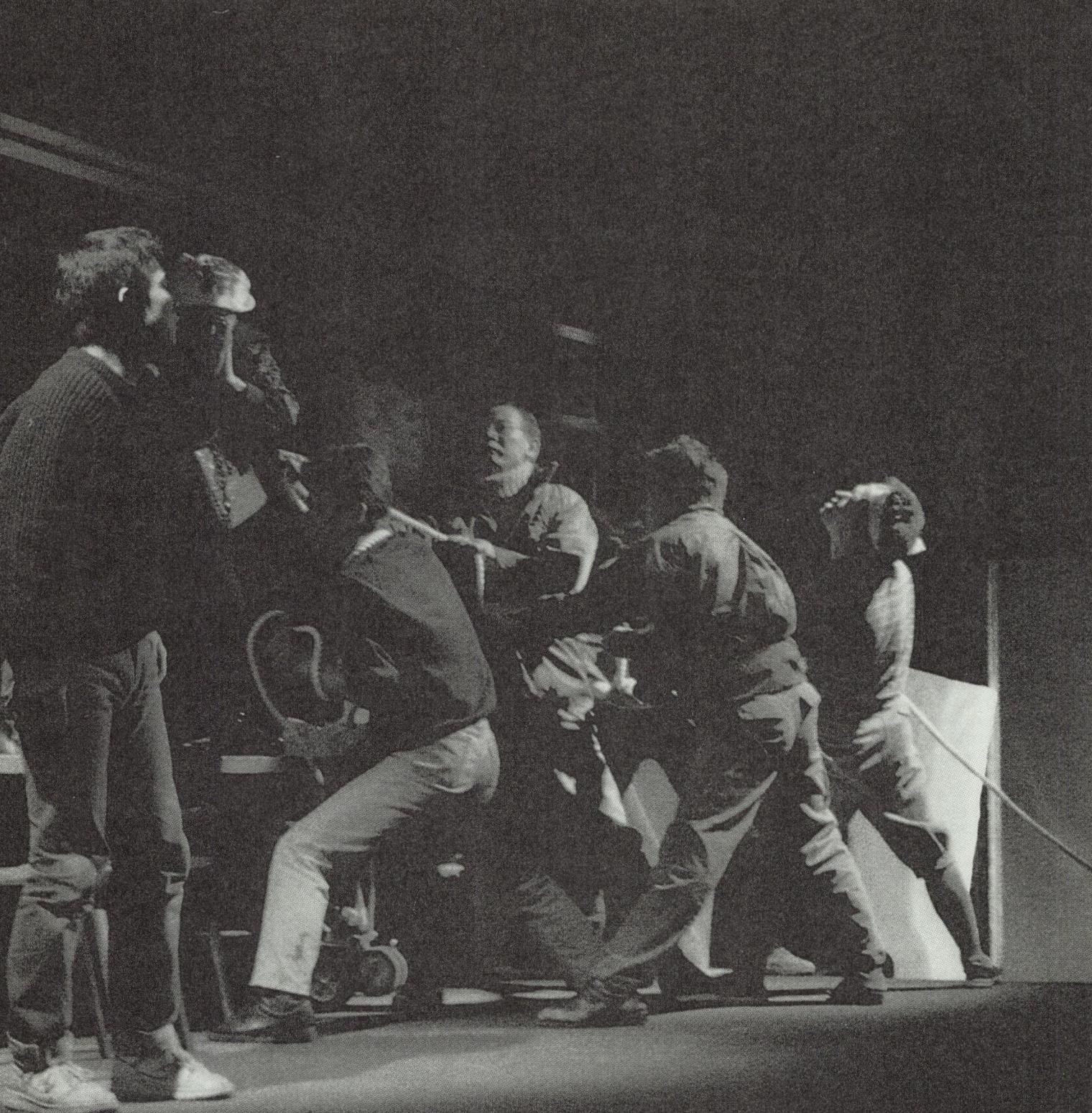


Photo by Akira Kinoshita



RIN-KO-GUN "Gravepost of the Whales"

会計報告
Financial Report

収支計算書 1994年4月1日～1995年3月31日
STATEMENT OF REVENUE, EXPENSES from April 1, 1994 to March 31, 1995

単位:円

I 収入の部 REVENUE	
1. 基本財産運用収入 Investment income from endowment	184,024,000
2. 運用財産運用収入 Investment income from operating fund	69,433,621
3. 運用財産収入 Contributions	100,000,000
4. 貸貸収入 Income from lease	26,942,995
5. 受入保証金収入 Deposit received	4,490,500
当期収入合計 Net Total Revenue	384,891,116
前期繰越収支差額 Balance Brought Forward	3,394,247,646
収入合計 Total Revenue	3,779,138,762
II 支出の部 EXPENSES	
1. 事業費 Program services	352,414,230
(うち助成事業/現代演劇・舞踊 Grant program/Contemporary theatre and dance grants)	(128,643,884)
(うち助成事業/特別 Grant program/Special projects support grants)	(31,350,000)
(うち自主製作事業 Sponsorship program)	(125,649,956)
2. 管理費 General management	99,275,315
3. 差入保証金支出 Deposit paid	12,768,000
4. 固定資産取得支出 Expenses of the acquisition of fixed assets	2,637,864
5. 予備費 Reserve fund †	6,034,800
当期支出合計 Total Expenses	473,130,209
当期収支差額 FUND BALANCES	△88,239,093
次期繰越収支差額 BALANCE CARRIED FORWARD	3,306,008,553

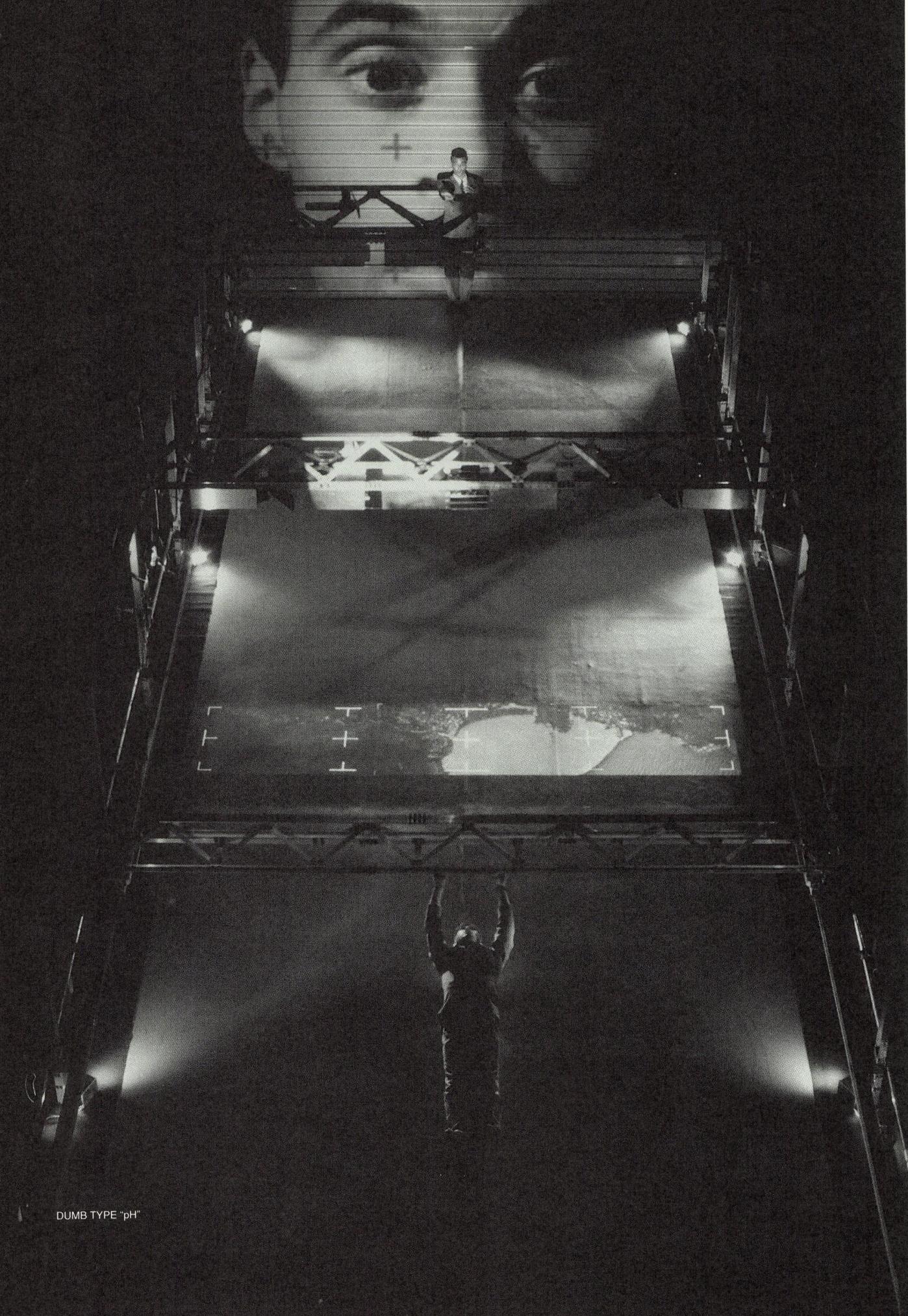
*予備費の決算額は森下スタジオ不動産取得税

The above "Reserve fund" represents reserve for real estate acquisition tax in connection with purchasing land for Morishita Studio

貸借対照表 1995年3月31日現在
BALANCE SHEET as of March 31, 1995

単位:円

I 資産の部 ASSETS	
1. 流動資産 Current Assets	
現金預金 Cash	115,495,277
未収収益等 Accrued revenue	90,980,816
有価証券等 Marketable securities	3,102,325,337
流動資産合計 Total current assets	3,308,801,430
2. 固定資産 Fixed assets	
基本財産 Endowment fund	
有価証券 Marketable securities	4,500,000,000
土地 Land	2,223,464,000
基本財産合計 Total endowment fund	6,723,464,000
その他の固定資産 Other fixed assets	558,486,952
固定資産合計 Total fixed assets	7,281,950,952
資産合計 Total Assets	10,590,752,382
II 負債の部 LIABILITIES	
負債合計 Total Liabilities	7,283,377
III 正味財産の部 NET ASSETS	
正味財産 Net assets	10,583,469,005
(うち基本財産 Endowment fund)	(6,723,464,000)
(うち当期正味財産増加額 Increment of assets)	(△104,181,592)
負債および正味財産合計 Total Liabilities and Net Assets	10,590,752,382



DUMB TYPE "pH"

業務日誌
Review of Activities

1994年	
3月11日～4月7日	ロイヤル・シェイクスピア・カンパニー公演「冬物語」
4月1日	森下スタジオ開館
	1994年度審査委員会
4月2日	森下スタジオ開館記念シンポジウム 「日本型アーツマネジメントの展望と21世紀の劇団運営」
4月3日～4日	森下スタジオ開館記念ワークショップ「演劇体験～演劇を身近に感じるために」
4月5日～5月28日	セゾン文化財団ワークショップ1994「カラスワークショップ」第1期
5月17日	第8回理事会(1993年度事業及び収支決算報告の件、1994年度事業計画及び収支予算の件) 第8回評議員会(1993年度事業及び収支決算報告の件、1994年度事業計画及び収支予算の件)
5月24日～7月19日	演劇制作者研修セミナー
5月30日	助成決定通知面接開始 文化庁に1993年度事業報告書及び1994年度事業計画書提出
7月1日	1994年度スタジオ助成2次募集開始
8月6日～9月29日	セゾン文化財団ワークショップ1994「カラスワークショップ」第2期
8月22日～9月18日	トライアングル・アーツ・プログラム(アメリカ) 9月22日～25日 ハケ岳高原音楽祭「祈りと音楽」
9月30日	1994年度スタジオ助成2次申請締切
10月6日～24日	トライアングル・アーツ・プログラム(インドネシア) 10月28日 1994年度スタジオ助成2次決定通知
11月1日	1995年度《現代演劇・舞踊助成》募集開始
11月7日～27日	トライアングル・アーツ・プログラム(東京)
11月22日～28日	さっぽろ映像セミナー
12月1日～3月22日	セゾン文化財団ワークショップ1994「カラスワークショップ」第3期
12月24日	1995年度コロンビア大学アーツマネジメント留学助成申請締切
1995年	
2月28日	1995年度助成申請締切
	1995年度コロンビア大学アーツマネジメント留学助成決定通知
4月7日～29日	ロイヤル・シェイクスピア・カンパニー公演「恋の骨折り損」

1994	
Mar. 11 - Apr. 7	Royal Shakespeare Company "The Winter's Tale"
Apr. 1	Opening of Morishita Studio
	Reviewing Committee meeting
Apr. 2	Seminar "Arts Management - In Search of its Japanese Style"
Apr. 3 - 4	Workshop "Theatre Experiences - To Become Familiar with the Theatre"
Apr. 5 - May 28	The Saison Foundation Workshop 1994 "KARAS WORKSHOP" (Term 1)
May 17	8th Board of Directors meeting (agenda - report on 1993 activity and settlement of accounts, report on 1994 planned activity and budget)
May 24 - Jul. 19	8th Board of Trustees meeting (agenda - report on 1993 activity and settlement of accounts, report on 1994 planned activity and budget)
May 30	"Arts Management Seminar for Theatre Managers"
	Start of Grantee Interviews
Jul. 1	Presentation of activity report to Cultural Affairs Agency
Aug. 6 - Sep. 29	Secondary application period begins for Morishita Studio Rental
Aug. 22 - Sep. 18	The Saison Foundation Workshop 1994 "KARAS WORKSHOP" (Term 2)
Sep. 22 - 25	"Triangle Arts Program" in U. S. A.
Sep. 30	Yatsugatake Music Festival '94 "Music and Prayer"
Oct. 6 - 24	Deadline for secondary applications for Morishita Studio Rental
Oct. 28	"Triangle Arts Program" in Indonesia
Nov. 1	Notification letters dispatched to applicants for Morishita Studio Rental
Nov. 7 - 27	Application period begins for 1995 Contemporary Theatre and Dance Grants
Nov. 22 - 28	"Triangle Arts Program" in Tokyo
Dec. 1 - Mar. 22	"Sapporo Eizo Seminar"
Dec. 24	The Saison Foundation Workshop 1994 "KARAS WORKSHOP" (Term 3)
	Deadline for applications for Study Program in Arts Administration 1995
1995	
Feb. 28	Deadline for 1995 financial grant
	Notification letters dispatched to applicants for Study Program in Arts Administration 1995
Apr. 7 - 29	Royal Shakespeare Company "Love's Labour's Lost"

申請の手引

現代演劇・舞踊助成の申請について

セゾン文化財団は、現代演劇、現代舞踊の領域における下記の活動を対象に、助成申請を受付けています。

A. 創造環境整備

演劇・舞踊界のシステムの改善、人材育成、ネットワークの構築など、芸術創造を支える環境の整備に貢献する目的で行われる活動。調査研究、ワークショップ、会議、シンポジウム、出版、アーツマネジメント分野における海外の大学、高等教育機関への留学・研修など。

B. 芸術創造

長期的な展望を持つ国内の若手芸術家/芸術団体の活動全般。

C. 国際交流

国内の芸術家/芸術団体の海外公演、海外の芸術家/芸術団体の招聘公演。および国際的な芸術共同創造活動。

*営利を目的とする活動は対象となりません。また、以下に該当するものも対象とならないか、審査の際、優先順位が低くなります。

- ・特定地域の振興や姉妹都市間の交流を主な目的とするもの
- ・活動の対象が特定の観客に限られるもの

1996年度助成の対象となるのは、1996年6月から1997年5月までの1年間に行われる活動です。申請内容は、当財団の審査委員会で検討され、その後、理事会・評議員会で助成の可否が最終決定されます。募集要項の配布は1995年11月を予定しています。ご希望の方は、下記事務局までお問い合わせください。

お問い合わせ:

財団法人セゾン文化財団 事務局

〒104
東京都中央区京橋1-6-13
アサコ京橋ビル5F
TEL: 03(3535)5566
FAX: 03(3535)5565

セゾン文化財団申請受付 関西窓口

〒532
大阪府大阪市淀川区西中島5-10-15
セゾンコーポレーション 関西文化担当室内
TEL: 06(305)7446
FAX: 06(305)9481



Application Information

for Contemporary Theatre and Dance Grants

The Saison Foundation awards grants and/or rehearsal provides rehearsal studio space at MORISHITA STUDIO for the following activities in the field of contemporary theatre and dance:

A. Creative Environment Improvement

For various activities concerning contemporary Japanese theatre and dance such as research, studies, publications, human resource development, conferences, symposia, etc.

B. Creative Process Improvement

For creative activities by the younger generation of Japanese theatre and dance artists/companies

C. Interactive Activities

For performances held abroad by Japanese artists, and for performances held in Japan by foreign artists, and also for collaborative works including Japanese artists

The following activities are not eligible for funding:

- * Non-professional activities
- * Profit or commercial based activities
- * Activities intended for development of specific areas, or for friendship only among limited groups of people
- * Performances intended for specific audiences such as children, juniors and/or teenagers, i.e. with a primarily educational focus

Grants for 1996 will be made for projects scheduled to take place at any point during the year between June 1, 1996 to May 31, 1997. Application forms will be distributed from November, 1995. All applications received by the Saison Foundation will be reviewed by the Foundation's reviewing committee. Final decisions will be made at the meeting of the Board of Directors and Trustees.

For further information, please make inquiries to:

THE SAISON FOUNDATION

1-6-13 Kyobashi, Chuo-ku, Tokyo 104

TEL: 03(3535)5566

FAX: 03(3535)5565

Applications are also accepted at The Kansai Branch:

SAISON CORPORATION, Cultural Affairs Bureau, Kansai office

5-10-15 Nishinakajima, Yodogawa-ku, Osaka-shi, Osaka 532

TEL: 06(305)7446

FAX: 06(305)9481

役員・評議員

1994年6月1日現在

理事長

堤 清二

セゾンコーポレーション会長

川上 浩

ヤマハリゾート会長

常務理事

生野 重夫

セゾン生命保険取締役相談役

八木 忠崇

セゾンコーポレーション文化部長

川口 幹夫

日本放送協会会長

高橋 昌也

銀座セゾン劇場芸術総監督

高橋 照明

西洋環境開発社長

團 伊玖磨

作曲家

理事

石川 六郎

鹿島名誉会長

中原 佑介

美術評論家

羽倉 信也

第一勵業銀行相談役

中川 錛之助 ※1994年9月28日逝去

舞踊評論家

河竹 登志夫

共立女子大学文芸学部教授・演劇学

植木 浩

東京国立近代美術館館長

高丘 季昭

西友会長

野村 喬

演劇評論家

永井 道雄

国際文化会館理事長

江頭 啓輔

大沢商會社長

山崎 富治

山種証券相談役

小田島 雄志

東京芸術劇場館長・文京女子短期大学教授

木田 宏

第二国立劇場運営財団理事長

沖 正一郎

ファミリーマート相談役

白洲 正子

著述業

山口 勝弘

神戸芸術工科大学教授・メディアアーティスト

平岩 外四

東京電力相談役

山崎 正和

大阪大学文学部教授・評論家・劇作家

本野 盛幸

野村証券常任顧問

小池 一子

武蔵野美術大学造形学部教授

監事

原後 山治

弁護士

近藤 道生

博報堂代表取締役会長

堤 麻子

中瀬 宏通

中央監査法人代表社員・公認会計士

阿部 良雄

上智大学文学部教授・仏文学者

評議員

一柳 慧

作曲家・ピアニスト

荒井 豊

西洋環境開発会長

岩田 勝

ビサ社長

朝倉 摂

舞台テレビ美術家協会理事・舞台美術家

生野 重夫

セゾン生命保険取締役相談役

佐野 文一郎

東京国立博物館館長

伊夫伎 一雄

三菱銀行会長

三枝 佐枝子

西武百貨店監査役

石井 ふく子

日本演劇協会理事・演劇テレビプロデューサー

三枝 成彰

作曲家

西村 恭子

西洋環境開発文化担当顧問

絹村 和夫

西友副会長

遠山 一行

音楽評論家

紀国 憲一

セゾン現代美術館館長

水落 潔

演劇評論家

宮本 保孝

全国信用金庫連合会理事長

**Board of Directors
and
Board of Trustees**
as of June 1, 1994



CHAIRMAN:

Seiji Tsutsumi
Chairman, Saison Corporation

MANAGING DIRECTORS:

Shigeo Ikuno
Director & Advisor, Saison Insurance Co., Ltd.

Chuei Yagi
Director, Cultural Section, Saison Corporation

DIRECTORS:

Rokuro Ishikawa
Chairman, Kajima Co.

Nobuya Hagura
Senior Adviser Former President, The Dai-ichi Kangyo Bank, Ltd.

Toshio Kawatake
Professor, Kyoritsu Women's University

Sueaki Takaoka
Chairman, The Seiyu, Ltd.

Michio Nagai
Chairman, The International House of Japan, Inc.

Tomiji Yamazaki
Adviser, Yamatane Securities Co., Ltd.

Hiroshi Kida
President, The New National Theatre Foundation

Masako Shirasu
Novelist/ Essayist

Gaishi Hiraiwa
Counselor, The Tokyo Electric Power Co., Inc.

Moriyuki Motono
Adviser to the Board, The Nomura Securities Co., Ltd.

AUDITORS:

Sanji Harago
Attorney

Asako Tsutsumi

Hiromichi Nakase
Managing Partner, Chuo Audit Co., Certified Public Accountant

BOARD OF TRUSTEES:

Toshi Ichiyanagi
Composer/ Pianist

Masaru Iwata
President, Pisa Co., Ltd.

Shigeo Ikuno
Director & Advisor, Saison Insurance Co., Ltd.

Kazuo Ibuki
Chairman, The Mitsubishi Bank, Ltd.

Fukuko Ishii
Director, Japan Association for Theatre Arts

Yasuko Nishimura
Adviser, The Seiyu Corporation

Kazuyuki Toyama
Music Critic

Hiroshi Kawakami
Chairman, Yamaha Resort Co., Ltd.

Mikio Kawaguchi
President, Japan Broadcasting Corporation

Masaya Takahashi
Artistic Director, Ginza Saison Theatre

Hiroaki Takahashi
President, The Seijo Corporation

Ikuma Dan
Composer

Yusuke Nakahara
Art Critic

Einosuke Nakagawa
Dance Critic (d.28/8/94)

Hiroshi Ueki
Director, The National Museum of Modern Art, Tokyo

Takashi Nomura
Theatre Critic

Keisuke Egashira
President, J. Osawa & Co., Ltd.

Yushi Odashima
Director-General, Tokyo Metropolitan Art Space

Shoichiro Oki
Senior Corporate Adviser, Family Mart Co., Ltd.

Katsuhiro Yamaguchi
Professor, Kobe Design University/ Media Artist

Masakazu Yamazaki
Professor, Osaka University, Faculty of Literature/ Playwright

Kazuko Koike
Professor, Musashino Art University

Michitaka Kondo
Representative Director of the Board, Hakuhodo Inc.

Yoshio Abe
Professor, Sophia University, Faculty of Literature

Minoru Arai
Chairman, The Seijo Corporation

Setsu Asakura
Theater Designer

Bunichiro Sano
Director-General, Tokyo National Museum

Saeko Saigusa
Inspector, Seibu Department Stores, Ltd.

Shigeaki Saegusa
Composer

Kazuo Kinumura
Vice Chairman, The Seiyu, Ltd.

Ken'ichi Kinokuni
Managing Director, Sezon Museum of Modern Art

Kiyoshi Mizoochi
Theatre Critic

Yasutaka Miyamoto
President, The Zenshinren Bank

セゾン文化財団

設立年月日: 1987年7月13日
主務官庁: 文化庁
基本財産: 6,723,464,000円(1995年3月31日現在)

事務局

事務局長:
片山正夫

事業担当:
久野敦子
福富達夫
稻石奈津子
河野朋子

管理担当:
坂上孝男

1994年度 事業報告書

1995年10月発行

財団法人セゾン文化財団
〒104
東京都中央区京橋1-6-13アサコ京橋ビル5F
TEL: 03 (3535) 5566 FAX: 03 (3535) 5565

印刷 株式会社アポロ社

THE SAISON FOUNDATION

Date of Establishment: July 13, 1987
Authorized by Agency for Cultural Affairs
Funds: ¥6,723,464,000 (as of March 31, 1995)

STAFF

Secretary-General:
Masao Katayama

Program Staff:
Atsuko Hisano (Program Director)
Tatsuo Fukutomi (Program Officer)
Natsuko Inaishi (Program Officer)
Tomoko Kono (Program Officer)

Administrative Staff:
Takao Sakagami (Financial Manager)

ANNUAL REPORT 1994

October 1995

THE SAISON FOUNDATION
1-6-13 Kyobashi Chuo-ku Tokyo 104 Japan
TEL:03(3535)5566 FAX:03(3535)5565

